

Ⅲ 学校教育

1 重点施策に係る主な事業

○学ぶ喜びを味わわせる学習指導の推進

	事業	内容
①	学習指導 ・学校訪問 ・「指導のてびき」の作成	教員の指導力の向上と児童生徒の確かな学力の向上を目指して毎年学校訪問等の指導の機会を持ち、学習指導の充実を図る。また、「指導のてびき」を作成して全教職員へ配布する。
②	教育広報 ・「新座の教育だより」の発行 ・「教育研究 新座」の発行	「新座の教育だより」を発行し、教育行政の重点を通知したり、優れた実践を紹介したりする。また、年度の主任会の活動記録、研究協力員の研究等の教育実践を「教育研究 新座」にまとめ、全教職員へ配布する。
③	小学校社会科副読本、中学校地域教材資料集の編集発行	小学校社会科副読本「のびゆくにいぎ」（3年）・「のびゆく新座」（4年）、中学校社会科地域教材資料集「新座」を編集発行し、ふるさと新座に生きる児童生徒の郷土に対する理解と愛情を育み、郷土の一員としての自覚を高める。
④	情報教育の推進	小・中学校におけるコンピュータ・インターネット・50インチテレビ（小学校）・75インチ電子黒板（中学校）・可動式PC端末等を活用した教育を充実させる。
⑤	環境教育の充実	総合的な学習の時間を始め、全教育活動を通して環境教育の推進を図る。
⑥	授業の活性化のための人材活用	学校教育の充実、授業の活性化、指導方法の工夫改善の多様化を図る方策の一つとして、地域の人材を講師として授業に積極的に活用する。
⑦	小・中学校音楽会 （令和6年度は中止）	演奏する喜びを味わわせるために、新座市民会館の大ホールで小・中学校の音楽発表会を実施する。
⑧	研究委嘱	児童生徒の個性を生かし、地域に根ざした特色ある教育を展開し、生きる力を育むことをねらいとして、市内各小・中学校に研究を委嘱する。23校全校委嘱。 また、令和3年度より、教職員が直面する様々な教育課題の解決のために必要な研究を個人・グループに委嘱する。その解決に向けた研究の成果を広く周知し、市内教職員の資質を向上させる。
⑨	「総合的な学習の時間」の推進	「総合的な学習の時間」の目標を実現するために、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動及び特別活動を含めた全教育活動の中で固有な見方・考え方を総合的に働かせた探究的な学習の指導が展開されるよう支援を行う。
⑩	学校教育農園・学校教育林の設置	学校教育農園・学校教育林での体験的学習を通して、児童生徒の情操を育むとともに学習と生活体験との一体化を図り、ふるさと新座を愛する市民の育成を図る。令和6年度も引き続き、学校ふるさと支援事業として、学校教育農園を市内全小・中学校に設置する。学校教育林も小学校4校に設置する。
⑪	小学校第1学年副担任配置	入学期において、集団行動ができる子ども、できない子ども、学習の状況などに大きな違いが見られる。複数の教師により、児童の基本的な学習習慣や生活習慣の確立を図り、自立の基礎を培うことを目的として、副担任を配置する。令和6年度は、11校、13名を配置する。

○生徒指導・進路指導の充実

	事業	内容
①	教育相談の視点をふまえた生徒指導の充実 特別支援教育の推進	生徒指導主任研修会と学校教育相談主任研修会を一つに統合し、市内児童生徒の非行問題、不登校やいじめ等について、より広い視点から情報交換を行い、具体的な対策等について協議する。 さらに、学校訪問等により、各学校の生徒指導や特別支援教育の諸課題等を把握し指導助言を行う。
②	進路指導・キャリア教育 ・家庭・学校・地域ふれあい 推進事業の推進	生徒が自らの生き方を考え、自分の意志と責任で主体的に進路を選択・決定することができるように指導・援助する。家庭・学校・地域ふれあい推進事業を各中学校において実施する。 また、中学校2年生を対象に3日間の職場体験学習を実施する。(令和2・3・4・5・6年度は中止)

○学校人権教育の推進

	事業	内容
①	学校人権教育 ・人権標語、ポスターコンクール の取組の推進 ・人権作文の取組の推進	人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育成する。 人権標語、人権作文等の取組を推奨し、学校人権教育の実践を充実させる。 教職員への研修の機会、啓発活動を企画し、実施する。
②	読書活動の推進 ・学校図書館教育の充実	読書は、人としてよりよく生きる力を育み人生をより味わい豊かなものとしていくために欠くことのできないものである。読書活動の充実に向けて、各小・中学校、地域、関係機関が連携した下記の事業を行う。 ① 学校図書館の整備と効果的な活用 ② 学校図書館司書教諭・学校図書館担当教諭・図書整理員の研修 ③ 公立図書館と学校図書館との連携 ④ 学校図書館蔵書の充実と選書の工夫 ⑤ 地域ボランティア活動との連携 ⑥ 新座市必読図書（第3期まで選定終了）の読書推進



75インチ電子黒板・可動式PC端末等を
活用した授業の様子

○特別支援教育の充実

	事業	内容
①	特別支援教育環境の整備	<p>障がいのある子どもたちに、その障がいの特性や程度に応じて、一人一人へのきめ細かな配慮の下に、適切な指導が行えるようにする。</p> <p>【特別支援学級設置校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇知的障がい学級…全校設置 ◇自閉症・情緒障がい学級…全校設置 ◇弱視障がい学級…片山小、新座小 <p>【通級指導教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇難聴・言語（設置小学校）…八石小、新開小 ◇発達・情緒（設置小学校）…新座小、野寺小、新堀小 ◇発達・情緒（設置中学校）…第三中、第四中 <p>（巡回指導）新座中、第二中、第五中、第六中</p>
②	特別支援学級行事の合同開催 ・学習発表会 ・作品展	<p>特別支援学級設置校が合同の行事を開催し、各特別支援学級の交流とともに、体験的活動の充実に努める。また、特別支援教育の内容を広く啓発するために、各行事等の開催期日・場所を工夫しながら、地域・保護者の方々により多く参観、協力していただけるように配慮していく。</p>
③	就学相談	<p>特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学に向けて、障がいの特性や程度を的確に把握し、最も力を伸ばすことができる就学先について相談する機会を提供している。保護者及び本人がより納得した就学先を選択できるようにするために就学支援委員会を組織し、情報提供や助言を行っている。</p>
④	一般就学相談	<p>障がいのある子どもの保護者に、市の広報を通じて、幼稚園関係機関等にリーフレットを配布して、教育相談、就学相談を促す。電話相談、来談を通して資料の提供を行うとともに、特別支援学級の見学日を設定するなど、保護者及び本人が自ら判断できるように努める。また、就学後も必要に応じて教育相談を行う。</p>
	事業	内容
⑤	特別支援教育支援員配置	<p>特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育活動の支援のため、新座市特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の社会的自立を目指す。</p>
⑥	音楽療法による指導の充実	<p>「音楽」を意図的、多角的に活用することで、児童の特性による諸課題についての支援としていくことを期待する活動である。健全な心身の発達を促すための1つのプログラムとして実施している。（対象は小学校・1年に4校ずつ）</p>
⑦	通級指導教室の設置	<p>小・中学校の通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒に対して支援・指導の一層の充実を図る観点から、その障がいに応じた個別の支援・指導の場として設置している。「発達・情緒障がい」「難聴・言語障がい（きこえとことば）」の教室がある。</p>

⑧ 特別な支援を要する児童生徒の介助員配置	通常の学級で学ぶ、歩行・食事・排泄等の介助が必要な児童生徒の社会的自立を促すための支援を行う介助員を配置する。
-----------------------	---

○教育相談活動

	事業	内容
①	教育相談員の配置	<p>教育相談室において、教育相談員が電話・学校訪問・来室相談の形態を取りながら、教育相談を行っている。相談員は5名。うち3名は月曜日から金曜日、他2名は週3回勤務している。隔週月・火曜日は、教育相談員と県SSW、指導主事との合同会議を行い、教育相談の効果を高めるよう努めている。</p> <p>◇「一般教育相談」 TEL 048-477-4152 ◇「いじめ相談」 TEL 048-478-0100</p>
②	子供相談電話・新座市こどもSOS相談の開設	<p>家族や友だちなどにも聞かれたくない悩みや不安を抱えている市内小・中学校の児童生徒が、気軽にどこからでも電話や一人一台端末で悩みを相談できるような仕組みを整えている。</p> <p>TEL 0120-213-415 (フリーダイヤル)</p>
③	学校カウンセラーの配置	<p>いじめや不登校の問題解決に向け、児童生徒及び保護者、さらには学校からの希望などにより、より専門的な立場からのカウンセリングを月・水・金曜日に行っている。</p>
④	教育支援ルームの設置 (ふれあいルーム) (とことこぷらすのへや)	<p>不登校の児童生徒を対象に「ふれあいルーム」「とことこぷらすのへや」を設置して、社会的自立を目指した支援を行っている。「とことこぷらすのへや」は十文字女子大学と連携して指導援助にあたっている。</p>
⑤	さわやか相談員等の配置	<p>さわやか相談員を中学校に配置し、いじめや不登校等で悩みを抱える生徒の相談、支援にあたる。</p> <p>◇さわやか相談員……中学校全校に配置 ◇子どもと親の相談員……小学校全校に配置</p>
⑥	スクールソーシャルワーカーの配置	<p>不登校や暴力行為、児童虐待など、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけを行うとともに、家庭訪問等により児童生徒の支援を行う。</p>
⑦	不登校対策	<p>不登校児童生徒への支援の仕方や、新たな不登校を生まない未然防止の観点も含め、校長会や研修会で周知啓発している。</p> <p>研修会では事例研修を行ったり、各校の不登校児童生徒への具体的な取組等について情報交換を行ったりして、一人一人の教員の指導の充実を図っている。</p> <p>また、近隣の大学の教育系及び臨床心理系学部と連携を取り、身近なお兄さんやお姉さんの存在のピアサポーターとして大学生・大学院生を学校などに派遣している。</p>

○国際理解教育と英語教育の推進

	事業	内容
①	英語指導助手配置 ・中学校全校にAET 各1名配置	市内全中学校にAETを一人ずつ配置して、生徒一人一人の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、英語科教員との週1時間のチーム・ティーチングによる外国語科の授業を展開する。
②	小学校英語講師配置	市内全小学校に小学校英語講師等を配置し、小学校3年生、4年生の外国語活動、小学校5年生、6年生の外国語（英語）において、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、担任とのチーム・ティーチングによる授業を展開する。小学校1年生、2年生、特別支援学級には年間10時間、担任とのチーム・ティーチングで英語の音やリズムになれることを目的とした授業を展開する。
③	日本語指導員の派遣	新座市立小・中学校に就学している日本語指導の必要な外国人子女及び帰国子女がいる学校に、日本語指導教員、日本語指導員及び外国籍児童生徒サポーターを派遣し、日本語指導を行う。あわせて、生活適応に関する支援を行う。 日本語指導教員が巡回して指導方針及び調整を行っている。

○地域交流活動の推進

	事業	内容
①	部活動ボランティア指導員の配置	中学校における部活動を充実させるために、専門的な指導技術をもった地域の人に協力していただくボランティア指導員を配置する。
②	市の文化的・体育的行事への児童生徒の積極的な参加	市民文化祭や市民体育祭などへ、マーチングバンドや吹奏楽部が参加したり、絵画や書道等の作品を出品したりするなど、団体や個人として積極的に参加するように奨励している。

○教職員研修一覧

	研 修 名	対 象	内 容
①	主幹教諭・教務主任研修会	主幹教諭・教務主任	教育指導計画についての研究を深め、自校の教育指導計画の充実に資する。
②	教科等主任研修会	各主任	市内教職員の資質の向上を図るとともに教育水準の維持向上を期する。
③	学校人権教育臨地研修会	小・中学校教員	人権課題について臨地にて学び、人権尊重の教育の充実に資する。
④	養護教諭研修会	養護教員	医療施設等の見学、専門家による講演等を企画し養護教員の資質の向上を図る。
⑤	栄養教諭・学校栄養職員研修会	栄養教諭・学校栄養職員	「食に関する指導」についての教材開発等について研修し、食育の充実に資する。
⑥	生徒指導、学校教育相談主任研修会	小・中学校教員	「心豊かな児童生徒の育成を目指して～小・中学校の連携を推進し、9年間を見通した指導を実践する～」の研修テーマで、ブロック研修を行い、情報交換を行う中で、担当者の資質向上を図る。
⑦	生徒指導・教育相談・中級研修会	小・中学校教員	児童生徒理解の意義と方法や、学級・学校生活への適応に関する指導・援助や教育相談についての基礎的・基本的な知識や技能を習得し、教育活動の充実に資する。
⑧	特別支援学級等担任者研修会	特別支援学級担当教員	授業研究を通して特別支援学級等担任者の資質の向上を図るとともに、合同作品展等の合同行事等を通じて特別支援教育の充実に資する。
⑨	特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育コーディネーター	市の就学支援委員会と連携し、適切な校内支援、就学相談を行うために、研修会を実施し、担当者の資質の向上を図る。
⑩	幼保小連携推進協議会研修会	幼稚園・保育園・小学校教員	幼稚園と保育園と小学校の相互の理解を深め、連携を通してそれぞれの段階での教育の充実に資する。



2 令和6年度 新座市教育委員会研究委嘱一覧

新座市教育委員会

【学校研修委嘱】

学校番号	学校名	研究領域	研究主題	委嘱年度
1	大和田小	学力向上	主体的に考え、学び合う児童の育成 ～「学ばっておもしろい」と思える授業づくりを目指して～	6・7・8年度
2	西堀小	全教科	ポジティブな行動支援を軸とした学力向上	5・6・7年度
3	片山小	学力向上 (全教科)	学びに向かう力の涵養 ～質の高い教育 サステイナブルな社会をめざして～	4・5・6年度
4	第四小	全教科	互いの考えを伝え合い、自ら学びを広げる児童の育成 ～協働的な学びを育む学習指導の工夫～	5・6・7年度
5	八石小	授業改善	対話力を高める指導法の研究 ～自ら思考し、自分の思いや考えを適切に伝え合える児童を目指して～	4・5・6年度
6	東北小	学力向上	主体的・協働的に学ぶ児童の育成	6・7・8年度
7	野火止小	学力向上	よく考え 深く学ぶ のびっ子の育成	6・7・8年度
8	野寺小	全教科	感動ある学習の創造 ～互いが育つかわりのできる子をめざして～	6・7・8年度
9	池田小	特別活動	自分の未来を創造できる児童の育成	4・5・6年度
10	新堀小	学力向上	自己の考えを広げ、表現する児童の育成	4・5・6年度
11	東野小	生活科、総合的な 学習の時間	主体的に思考し、表現する児童の育成を目指して	4・5・6年度
12	栄小	生活科、総合的な 学習の時間	確かな学力を育てる ～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～	5・6・7年度
13	石神小	学力向上	学び合いから高める思考力、判断力、表現力	4・5・6年度
14	新開小	学力向上	主体的に問いを追究・解決しようとする児童の育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～	6・7・8年度
15	栗原小	学力向上	学びを深め、思いや考えを豊かに表現する児童の育成	4・5・6年度
16	陣屋小	学力向上	あきらめずに学び続ける児童の育成 ～学習方略、非認知能力に着目して～	6・7・8年度
17	新座小	授業改善	「もっと」があふれる授業の創造	5・6・7年度
18	新座中	特別の教科 道徳	生徒が考えを言語化し、表現できる道徳科の授業づくり	4・5・6年度
19	第二中	学校教育相談	「多様な育ち」を前提とした学校システムの再構築	6・7・8年度
20	第三中	全教科	探究と協働の学びへ ～学びの質の向上をめざして～	5・6・7年度
21	第四中	全教科	質の高い学びの実現に向けた授業スキルの向上	5・6・7年度
22	第五中	学力向上 ICT教育 (全教科)	「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現 ～ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して～	5・6・7年度
23	第六中	特別の教科 道徳	自らの考えを豊かに表現できる生徒の育成	6・7・8年度

【教職員への研究委嘱～個人研究・グループ研究～】

個人研究	野寺小 工藤 俊輔	体育・保健体育	運動の特性や魅力を十分に味わうことのできる教材の工夫	6年度
個人研究	石神小 手嶋 大介	体育・保健体育	全員が「運動が楽しい」と感じられる体育授業の研究 ～アダプテーションゲームの実践を手掛かりにして～	6年度
グループ 研究	第四中 元長 晴樹 緑川 祐子 栗田 裕介 飯崎 由幾	体育・保健体育	生徒が夢中になる保健体育授業の実践 ～ネット型卓球の特性を味わえる教材・教具の研究～	6年度

3 市立小・中学校

新座市立大和田小学校



＝シンボルの木及び花＝

木 さくら

花 日々草

《プロフィール》

本校は開校150年目を迎える歴史と伝統のある学校である。保護者や地域の方の中に卒業生も多く、学校に寄せる愛着と期待は大きい。平成14年1月、環境にやさしい「エコスクール」として新校舎が完成した。ワークスペースを備えた教室等、施設の特色を生かした教育活動を推進している。

学校教育目標は「大和田小の子は(品格) かしこく(知性) やさしく(感性) がんばる(耐性)」であり、目指す学校像を「すべての子を大和田の光に 日本一の笑顔の学校」とし、子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的学びを大事にした学校づくりに力を注いでいる。

新座市教育委員会より学力向上の研究委嘱を受け、「主体的に考え、学び合う児童の育成」を研究主題に、主体的で対話的な学びを深め、自ら表現、発信する力の育成を目指し取り組んでいる。

校長 近藤 章宏

教頭 真田 朋美

創立 明治7年7月9日

児童数 746名

教職員数 41名

学級数 27学級

所在地 新座市大和田一丁目1番30号

電話 048-477-2021

FAX 048-482-6787

ホームページ

<http://e-oowada-c-niiza.edumap.jp/>

空晴れわたり 野にもおく
秋父の夢を あおぎ見て
もやまと学ぶ 窓こそは
あーたを思う 長いひまわり
あゝ大和田 小学校

昔を今に かなりて
流れも清い 野火止れ
ふとりをわけて りんととろ
あさふたうな 鐘鳴らす
あゝ大和田 小学校

明けりと光り 秋を望め
眺めをいつも 庭りて
ひときわ高く そびえるは
元氣にはげふ 育つ子の
あゝ大和田 小学校

大和田小学校々歌

新座市立大和田小学校

令和6年度 大和田小学校教育推進構想図 ～すべての子を大和田小の光に～

<学校教育目標>
大和田の子は(品格) かしこく(知性) やさしく(感性) がんばる子(耐性)

<目指す児童像>
自ら課題を見つけ、主体的に進んで活動する子
～にこにこ きびきび すらすら はきはき～
〇にこにこ
・温かい思いやりの気持ちで「ありがとう」と伝えられる子
・誰に対しても明るく笑顔で挨拶ができる子
〇きびきび
・人の話をよく聴いて自分で考えて行動ができる子
・自分の役割をきちんと果たし、協働的に働くことができる子
・よりよく生きることができるよう、自ら考え決定できる子
〇すらすら
・基礎・基本を大切にして学ぶ子
・自ら課題をもち、進んで学習に取り組む子
〇はきはき
・いつも姿勢として元気、体を鍛え、生き生きとした生活ができる子
・自分の考えをはっきりと表現し、伝えられる子

<目指す学校像>
子供の自己有用感を実感させ、
主体的・協働的な学びを実践していく学校づくり

<目指す教職員像>
「凡事徹底」・「師弟同行」
・子供一人一人を丁寧に見届ける
・授業・研修を大切に、常に探求を続ける
・保護者・地域の願いや思いを受け止める
・お互いの立場を思いやり、協働の気持ちを大切に

実現のための方策

<令和6年度の重点>

- 「個に応じた対応」子供たちや、保護者・地域の方々の一人一人を見届け、教育活動、学級経営、生徒指導、家庭との連携・連絡調整等丁寧に配慮する。
- 「主体的に活動する場の設定」自信もてる大和田の子供たちを育む場の設定を定期的、継続的に行う。
- 「授業づくりの深化、充実」 研究課題：主体的に考え、学びあう児童の育成 のもと、研究テーマの深化充実により授業改善を図る。
- 「ICT環境への対応」クラウドブックや大型電子黒板の効果的な活用方法を検討し、校内での共有を図る。
- 「地域・保護者の期待と信頼に応える」丁寧な対応、周年事業を通して歴史と伝統を伝えていく。体育館改修に向けて教育課程、学校行事の検討を行う。

自己有用感を実感できる学校

縦割り交流会 進学部長感謝の会
夢と豊かな心を育む講演会開催 6年生の1年生への支援(準備・掃除)

主体的な活動を引き出し、協働的に課題解決を図る学校

「話し合いたい」「解決したい」「伝えたい」という思いのある授業 ゴールを明確にした授業づくり
聞き手を意識した発表 ICTを活用した授業づくり

学びやすい環境をもち、安心・安全が確保された学校

多くの花が咲き誇る花壇 学校応援団の支援
読み聞かせボランティアの方々の車に乗り込む環境 ジャガイモや大根の収穫体験ができる学校菜園

保護者や地域の方々に信頼され、誇れる学校

地域の登下校見守り 6年生の公園清掃活動
学校農園で育てた野菜を販売 社会福祉協議会へ車椅子寄贈

開校150周年「すべての子を大和田小の光に」輝かせます



新座市立西堀小学校



=シンボルの木及び花=

木 さくら
花 コスモス

《プロフィール》

本校は創立145年目を迎え、明治、大正、昭和、平成、令和にわたり、西堀・新堀・本多地区等の小学校として多くの実績を残してきた伝統溢れる学校である。地域住民の学校への関心は高く、読み聞かせや1年生の生活指導（めんどり隊）・おやじの会・スクールガード（見守り隊）・図書ボランティア（さくらんぼ）など、学校応援団の活動も盛んである。

学校研究では、令和5年度より新座市教育委員会の委嘱を受け、「ポジティブな行動支援を軸とした学力向上」をテーマに、個別最適化、協働的な学びの実現に向けて、指導法の工夫・改善に取り組んでいる。教師自身が主体的に課題に取り組み、個々の児童の学力に合わせた指導を行い、確かな学力の定着を目指している。本年度は、次年度の本発表に向けて研究を進めていく。

校長 鈴木 勝
教頭 萩原 智子
創立 明治13年11月13日
児童数 346名
教職員数 23名
学級数 14学級（うち特別支援学級2）
所在地 新座市西堀二丁目18番3号
電話 042-491-6671
FAX 042-495-8848
ホームページ
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-nishibori/>

校

歌 薩摩 忠 作詞
藤山 一郎 作曲

一 緑にあける 野火の原

緑にひかる 通学路

受けついだ 歴史を守り

新しい 時代を築く

あかるい先生 あかるい友達

輪になり学ぶ

西堀 西堀 楽しい学校

二 緑にはえる 平林寺

緑にそまる ガラス窓

智恵伊豆の 流れを汲んで

みがきあう 心と身体

あかるい先生 あかるい友達

手を取り進む

西堀 西堀 楽しい学校

令和6年度
新座市立西堀小学校
コミュニティスクール指定校

学校教育目標
やさしく かしく たくましく

給食権譲
区・県・市等の協議
○農産物・畜産物等、学校給食法
○新年度食育委員
○対し県教育庁に届出申請
○新年度給食費・給食費納入

目指す学校像 地域・保護者とともに歩み、あいさつと笑顔あふれる学校

- ・ほしきや思いやりを育み、人を大切にできる学校
- ・わかる授業が展開され、主体的・対話的で深い学びの展開のもと、確かな学力を身につける学校
- ・心身の健康を大切に、児童が楽しく成長する学校
- ・こころを1つに、全教職員が自分の長さを発揮し、活力がみなぎる学校

学校の花 コスモス **創立145周年** 学校の木 サクラ

学校経営方針 **～MIND-1 NEXTAGE～** 心ひとつに次の時代へ 豊かなかわり（PBS）を生かして、
『自分の学び』をつくる西堀っ子を育てる
教職員全員が当事者意識をもって、自分の役割を果たす

目指す教師像 児童の自己肯定感を高める教師
～日常生活の中で、3分の授業を軸とする～

- ・子供の良さを引き出し、伸ばすことができる教師
- ・健康で、明るく、人間性豊かな教師
- ・人材育成のプロとして行儀を積み、挑戦する教師
- ・学校運営の視点で考え行動する教師
- ・研修を大切にし、学び続ける教師

目指す児童像 やさしく クリエイティブで 元気な児童

- ・子よく 助け合う子（やさしく）
- ・よく聞き 考える子（かしく）
- ・心と体を きたえる子（たくましく）

令和6年度 **西堀小 にじ プロジェクト** 新座市立西堀小学校

目指す児童像	学校の取組	児童の取組	家庭の取組	地域の取組
やさしく やさしく 作よく 助け合い 思いやりのある7 の取組	1. 児童一人一人の個性を 大切に、一人ひとりの 学習の進捗を把握し、 個別最適な学びを 実現する。	1. 授業内容を理解し、 習得していることを 確認する。	1. 学校の授業、家庭での 学習を支援する。	1. 児童の学習の様子を 把握し、家庭での 学習を支援する。
かしく 多様な意見を出し 意見をまとめる	1. 授業の中で多様な意見 を出し、それを尊重し、 まとめる。	1. 授業の中で多様な意見 を出し、それを尊重し、 まとめる。	1. 学校の授業、家庭での 学習を支援する。	1. 児童の学習の様子を 把握し、家庭での 学習を支援する。
たくましく 心と体を大切に 育てる	1. 授業の中で心と体を 大切に育てる。	1. 授業の中で心と体を 大切に育てる。	1. 学校の授業、家庭での 学習を支援する。	1. 児童の学習の様子を 把握し、家庭での 学習を支援する。

目指す授業像 一人一人の良さを引き出し、授業の可能性を引き出す授業
～ JUST EIGHT MINUTES ～
教師の説明8分以内の授業展開を目指す

- ・「わかる喜び、わかる喜び」を実感できる授業
- ・見通しと振り返りがあがる授業
- ・本時の「ねらい」が明確に示されている授業
- ・自らが生徒の考えを表現する場がある授業
- ・仲間とともに考え、豊かな発想が生まれる授業
- ・課題解決的、探求的な学習活動を取り入れる授業

重点目標 やさしく 豊かな心の育成のために

- ・子供たち一人一人の心を大切に授業展開
- ・多面的・多角的に考える道徳授業の推進
- ・縦割り活動等、豊かな体験活動の充実

重点目標 かしく 確かな学力の向上のために

- ・応用行動分析に基づいた3層の個別最適な支援の推進
- ・個別最適化学習・協働的な学びの推進
- ・ICT及びQubona（3年生以上）の効果的な活用

重点目標 たくましく 健やかな体を育てるために

- ・プロ、本物から学び、スポーツに親しむ活動の推進
- ・自らの命を守る意識を育む安全教育の充実
- ・家庭と連携した「早寝、早起き、朝ご飯」の励行

特色ある主な教育活動 ゲストティーチャーによる体験活動

5年 宇福林 4年 桜庭サポーター 3年 JF新座副校長さん

西堀町内会 新堀・西堀コミセンとの交流

西堀町会祭り 西堀町内会祭り 新堀・西堀コミセン祭り

プロ・本物から学ぶ体験活動 『出版授業・体験教室』 東京オリンピック体操日本代表電山耕平選手に学ぶ

学校応援団の活動 学校・家庭・地域の絆を深める 『輝く学校づくり』

図書ボランティア 読み聞かせ 見守り隊

めんどり隊（1年生） こすね隊（1年生） 木のクラブ（工作）

新座市立片山小学校

片山を愛し、「人・自然・社会」とのつながりを大切にする ユネスコスクール片山小学校



＝シンボルの木及び花＝

木 あおぎり

花 コスモス

《プロフィール》

本年度、開校150年を迎え、記念行事の準備に取り組んでいる。地域の温かい支援と期待を受けて片山っ子の児童像 か=かしこく た=たのしく や=やさしく ま=まけない心 を掲げ、伝統を大切にしながら教職員が情熱をもって創造的な教育活動を展開している。SDGsの視点で目標を設定し、学びに向かう児童の育成を目指し、チーム片山小で取り組んでいる。研究主題を「学びに向かう力の涵養 ～質の高い教育 サステイナブルな社会をめざして～」とし、新座市教育委員会の委嘱を受け、カリキュラム・マネジメントを意識した主体的・対話的で深い学びによる学力向上の研究に力を入れている。昨年度ユネスコスクールに認定され、引き続き研究に励んでいく。



校長 戸高 正弘

教頭 橋本 勝明

創立 明治7年2月15日

児童数 473名

教職員数 34名

学級数 20学級

所在地 新座市片山一丁目8番31号

電話 048-477-0312

FAX 048-482-6788

ホームページ

<https://e-katayama-c-niiza.edumap.jp/>

校歌

吉田 拓作詞
有賀 正助作曲

一 片山の 片山の
小学校はよいところ よいところ
緑の丘にかこまれて
空気が澄んでなごやかな
小鳥の歌で朝が来る 朝が来る
富士山はきょうも晴れてる(くり返す)

二 片山の 片山の
小学生のわたしらは わたしらは
粘りが強く 親切で
言わねばならぬ事は言う
聞かねばならぬ事は聞く 事は聞く
富士山に胸を開こう(くり返す)

三 わたしらは わたしらは
手に手を取って 武蔵野の 武蔵野の
ゆたかな土を踏んで行く
日本の子供新しい
時代をつくる子供らだ 子供らだ
富士山はきょうも晴れてる(くり返す)



新座市立第四小学校

「友だちたくさん 笑顔あふれる第四小」



＝シンボルの木及び花＝
木 さくら
花 コスモス



《プロフィール》

本校は、新座市では昭和の時代になってから最初に誕生した小学校であり、本年度で開校57年目を迎える。南には黒目川が流れており、周りにはまだ畑や林も多く残っている。校地内には多くの桜の木があり、緑豊かで自然に恵まれた学習環境となっている。

令和5年度から、新座市教育委員会の委嘱を受け、研究主題「互いの考えを伝え合い、自ら学びを広げる児童の育成～協動的な学びを育む学習指導の工夫～」のもと、国語、算数を中心に理論研修、授業実践を実施している。

また、地域に開かれた学校づくりとして、「チロルの森」(ミニギャラリー)に美術作品を展示したり、読み聞かせボランティアによる「本の読み聞かせ」などの読書活動の充実に努めたりしている。

校長 梅田 竜平

教頭 丹野 俊宏

創立 昭和43年4月1日

児童数 568名

教職員数 30名

学級数 21学級

所在地 新座市馬場三丁目6番1号

電話 048-478-3192

FAX 048-482-6789

ホームページ

<https://e-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>

校歌

昭和四十四年度六年生作詞
二宮 立身 補作
重田 恒雄 作曲

一 おもかけ残す 武蔵野に
黒目の流れ 友にして
ペンの心を きざみこみ
白くそびえる 学校は
われらが新座 第四小学校

二 はずんだ声が 声を呼び
わらいのうずに 包まれて
希望のひとみ 輝かす
いつも楽しい よい仲間
われらが新座 第四小学校

三 あらし吹く日も 枝つよく
伸びるけやきの 木のよう
肩組み合って きょうもまた
明るい未来を めぎそうよ
われらが新座 第四小学校

令和6年度 新座市立第四小学校 グランドデザイン ～開校57周年・21学級～

〈国の法令等〉

- 日本国憲法・教育基本法
- 学習指導要領「生きる力の育成」
- ・ 資質・能力の3つの柱
「知識及び技能」
「思考力、判断力、表現力」
「学びに向かう力、人間性」
- ・ 主体的・対話的で深い学び
- 令和の日本型学校教育
- ・ 個別最適な学び、協動的な学び

【学校教育目標】

- よく考え学ぶ子
- じょうぶでたくましい子
- 心の豊かな子
- ・ 動機付け、好奇心
- ・ 体験活動
- ・ 思考力、判断力、表現力
- ・ 心身の健康、安全
- ・ 耐性と責任感
- ・ 目標と強い意志
- ・ 挨拶と感謝の心
- ・ 思いやりと助け合う心
- ・ 協働する力

〈県の施策〉

- 第4期埼玉県教育振興基本計画 (R6～10年度)
「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」
- 埼玉県教育行政重点施策

〈新座市教育大綱 基本理念〉

「はぐくもう 共に生きる力と豊かな心」
～だれもが自分らしく幸せに生きるために～



友だちたくさん 笑顔あふれる 第四小

～活気と潤いに満ちた魅力ある学校に～

- ①れもが主役
- ②つも笑顔
- ③いいことは進んで
- ④しんもってやる

〈保護者・地域の願い〉

- ・ 安心、安全な学校
- ・ 魅力ある学校
- ・ 地域に根差した学校
- ・ 地域とともにつくる学校

【目指す学校像】

- 1 元気に登校する学校
(明るい挨拶、生活規律、心身の健康、リフレッシュ)
- 2 明るく美しい学校
(黙禮清掃、安心・安全、チロルの森)
- 3 自信と力のつく学校
(個別最適な学び・協動的な学び、自己有用感に基づく自尊感情)
- 4 信頼される学校
(情報発信、事故防止、CS)

【令和6年度 重点課題】

- 1 授業改善
・ 児童が自ら進んで学べるようにする。
・ 指導と評価の二層の一体化を図る。
・ GIGAスクールを推進する。
・ 児童の心の安定を図る。
- 2 非認知能力の向上
・ 全ての教育活動の基盤に据えて取り組む。
- 3 学校課題研究の取組
・ 研究主題
「互いの考えを伝え合い
自ら学びを広げる児童の育成」
～協動的な学びを育む学習指導の工夫～

【目指す教師像】

- 1 笑顔で接する教師
・ 率先垂範、健康
「和と協働を大切にします」
- 2 人間性豊かな教師
・ 温かさや厳しさ、言葉遣い
「子供を大切にします」
- 3 学ぶ喜び・わかる楽しさを教えらるる教師
・ 指導力
「授業を大切にします」
- 4 学び続ける教師
・ 向上心
「研修を大切にします」
- 5 保護者・地域とともに学ぶ教師
・ 信頼感
「保護者・地域の願いを大切にします」



新座市立八石小学校

新座市教育委員会 コミュニティ・スクール指定校

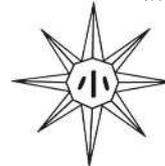


=シンボルの木及び花=

<学校教育目標>

木 いちょう
花 ツツジ

なかよく かしくく たくましく



《プロフィール》

本校は、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、『なかよく かしくく たくましく 学校有用感あふれる八石小学校』のキャッチフレーズのもと、児童が嬉々として登校し、充実感に満ちて下校する活気あふれる魅力ある学校づくりを目指している。各職員が創意工夫し、力を合わせて、一人一人の子どもを大切に教育を推進するため、授業改善について「対話力を高める指導法の研究」をテーマとして、全職員で取り組んでいる。また、本校は難聴言語通級指導教室を開設しており、言語指導にあたっている。地域や外部機関が参画した教育活動を積極的に展開し、学校・家庭・地域が自信と誇りをもち、共有できる学校づくりに取り組んでいる。

校長 川南 真一

教頭 町田 寿人

創立 昭和44年4月1日

児童数 298名

教職員数 24名

学級数 14学級(うち特別支援学級2)
(きこえとことばの通級指導教室)

所在地 新座市野寺二丁目8番45号

電話 048-477-6701

FAX 048-482-6790

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-hachikoku/>

校

藤山 一郎 作曲
薩摩 忠 作詞

二
ふりあおぐ
空よりも高い 夢を持ち
明るく鍛え 楽しく励む
武蔵野台地 八石の
ぼくたち わたしたち
力あわせて たくましく
未来を担う 子供たち
未来を担う 子供たち

一
さわやかな
緑の空気に かこまれて
明るく学び 楽しく遊ぶ
武蔵野台地 八石の
ぼくたち わたしたち
礼儀正しく すこやかに
仲よく伸びる 子供たち
仲よく伸びる 子供たち

令和6年度 コミュニティ・スクール 新座市立八石小学校 グランドデザイン

【目指す学校像】

『期待の登校、充実の活動、満足の下校』ができる学校

- ① 教職員が範を示し、自らも学び続ける学校
- ② できる喜び、分かる喜び、学ぶ面白さが味わえる授業を展開し、確かな学力を身に付けられる学校
- ③ 保護者や地域から親しまれ、認められ、信頼される学校
- ④ 落ち着きと美しき、活気のある学校

【学校教育目標】

なかよく

他者を思いやり協力し、感謝の心を育てる

かしくく

学びの面白さを味わわせ、困難に立ち向かい、目標に向かって粘り強く行動できる心と体を育てる

たくましく

困難に立ち向かい、目標に向かって粘り強く行動できる心と体を育てる

【目指す児童像】

『なかよくかしくくたくましく』を兼ね備えた児童

- ① あたりまえのことを、進んでできる子
- ② 自他の命を大切にし、相手意識をもって接することができる子(なかよく)
- ③ 目の前の事象に問いをもち、進んで学び、表現できる子(かしくく)
- ④ 困難に向き合い、目標に向かって粘り強くがんばる子(たくましく)

【目指す教師像】

『初志貫徹、有言実行、率先垂範、笑和継続』できる教師

- ① 子どもの成長を第一に考え、行動する教師
- ② 明確な目標を立て、常に授業改善に真剣に取り組む、学力向上に結びつける教師
- ③ 共通理解・共通行動・共通協働する教師
- ④ 心身共に健康で、自らのよさを表現して子どもに関わる教師

【目指す授業像】

対話力を高める授業

- ① 学習への意欲や関心を喚起することができる授業
- ② 児童が「できる喜び、わかる喜び」を実感できる授業
- ③ 学習規律が徹底された授業
- ④ 目標達成のために対話がある授業

【八つ石(意志=基盤)】

教育実践のために教職員が持つべき8つの志

- 1 初志貫徹 教師を志した時(動機、理由等)を忘れず、今もふれずに信念を常に持ち続け、職務に当たる。教職員は児童の人生に大きな影響を与える存在。その指導をする立場がまず児童に範を示す。明確なゴールが必須で、謝罪責任も負う。自らのよさや可能性を生かし、目標をしっかり立て、生きる力等をつけるための教育活動を実施する。
- 2 率先垂範 現状打破 現状維持は衰退に等しい。小さな変化を求め、大きな変化につなげるため、新しい学校様式に合った教育活動等を実施する。
- 3 有言実行 5 自己尊重 自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができる学校環境をつくり、児童・教職員の態度や行動を表す。
- 4 現状打破 現状維持は衰退に等しい。小さな変化を求め、大きな変化につなげるため、新しい学校様式に合った教育活動等を実施する。
- 5 自己尊重 自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができる学校環境をつくり、児童・教職員の態度や行動を表す。
- 6 凡時徹底 当たり前のことを当たり前に、学校全体で他校とは違う誇れる取組として徹底的に実施する。教職員個々の持っているすべからぬ知恵や才力を集めて一つにして、組織で対応する。
- 7 英知結果 研修等で新しい知識・技能を得たら、自らが教育活動において実践・還元する。
- 8 知行合一

今年度の一定の到達(成果)ライン【着地点】

- ☆ 学力(全国・県学習状況調査、校内学力テストにおける目標設定)の伸び【子どもの学力の保障】
- ☆ 『対話力を高める研究』研究発表会 取組・授業公開の成功 【教員の資質・指導力】
- ☆ 学校有用感(「八石小はいい学校」)の高まり 【学校・家庭・地域での共通項・誇り】

(学校のキャッチフレーズ) 『なかよく かしくく たくましく 学校有用感あふれる八石小学校』

自己肯定感とは、自分を肯定する気持ちであり、自己有用感とは、「有用」とあるように、自分が人の役に立っているという気持ち。子どもたちにそのような気持ちを高めるとともに、教職員、児童、保護者、地域の方が学校に対して自信、誇りとして持ち続けることができるように、学校のよさを認められるようにする。自信・誇りを持ち、存在価値をみんなで共有していく(学校有用感)。

【学力向上】

- ① 学習規律の確認と徹底
- ② 1時間ごとのわかる授業の展開と工夫
- ③ 基礎基本の定着を図る学習指導の工夫と計画的・継続的な個別指導(コト問問題集・キュービナの活用)
- ④ 一人一人に合ったタブレット端末等の活用(ロイノート全学年での活用)
- ⑤ 算数専科との効果的な指導の実施(TT・少人数指導)
- ⑥ 高学年教科専科の導入(算・理・音・家)
- ⑦ 4年生以上の辞書の積極的活用
- ⑧ 読書活動の推進(必読図書)の推奨
- ⑨ 校内研究により指導方法の改善(対話力)研究発表会の開催(11月6日)
- ⑩ 校内学力テスト実施(1月)、基礎基本の徹底検証
- ⑪ 英語・外国語活動の推進

【豊かな心の育成】

- ① 生徒指導・教育相談の推進(組織対応の重視)
- ② 特別支援教育の推進(個々のニーズに応じた対応、ユニバーサルデザインの観点、多様な人材の活用)
- ③ 道徳教育の充実(考え、議論する)
- ④ 人権教育の推進(「あおいこころをみせる」あ:あいさつ お:おもいやり い:いっしょようけんめい)
- ⑤ 基本的生活習慣の徹底
- ⑥ 体験活動の充実(学校周囲の活用、外部機関との連携)
- ⑦ キャリア教育の充実
- ⑧ 異年齢集団による活動の充実
- ⑨ 学校環境美化の推進
- ⑩ 校長室からの発信(毎月の取組)

【たくましい児童の育成】

- ① 新体力テストの結果の分析と対応
- ② 食育の充実(早寝早起き朝ご飯の推進、食育指導、栽培・収穫・食する一連の取組)
- ③ 校内外の体的行事の推進及び積極的参加・奨励
- ④ 健康教育の充実(保健指導の徹底)
- ⑤ あたりまえのことをあたりまえにできる子の育成(挨拶・感謝、言葉遣い、時間を守る等)
- ⑥ 民間委託による水泳指導(5~6月)
- ⑦ 新たな日課の実施

【教員の資質向上】

- ① 教育公務員としてのあり方(根拠ある判断行動、有言実行)
- ② 教師としてのあり方(情のある指導・判断、率先垂範)
- ③ 社会人としてのあり方(一般常識を兼ね備える)
- ④ 教員の授業力向上(一人一研究授業)
- ⑤ キャリアステージにおける研修、主任研修会・研究発表会への積極的参加
- ⑥ 管理職参観の授業公開実施(年2回)
- ⑦ 自己評価シートへの具体的・実践的な目標設定
- ⑧ 働き方改革の見直し(ノー残業デー 金曜ノー会議 18時電話19時教室作業19時半最終退勤)
- ⑨ 倫理確立委員会での取組、実施

【コミュニティ・スクールの推進・強化】

- ① 学校運営協議会の承認に基づく学校経営
- ② 学校応援団・PTA・外部機関との連携強化
- ③ 学校からの積極的な情報提供(学校だより等の発行、毎日のHP更新、報道機関への情報提供、スクールメールの活用等)
- ④ 五中ブロック・幼稚園・保育園、いきいき広場・コフレンド・学童との連携
- ⑤ 学校評価の活用
- ⑥ 学校有用感達成状況の検証(12月実施)

本年度の重点・取組

新座市立東北小学校

=シンボルの木及び花= 【学校目標】 なかよく元気な子
 木 ヒイラギ よく考える子
 花 マーガレット すすんで働く子



校長 斉藤 直之

教頭 石山 勉

創立 昭和44年4月1日

児童数 818名

教職員数 68名

学級数 28学級

所在地 新座市北野三丁目1番1号

電話 048-471-2022

FAX 048-487-5534

ホームページ

<https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

《プロフィール》

東武東上線志木駅から歩いて10分。目の前に立教大学新座キャンパスが広がる緑豊かで落ち着いた環境の中で、816名の子供たちが元気に学んでいる。

「笑顔いっぱい 歌声響く 東北小学校」(活気と潤いのある学校)をキャッチフレーズに、創立56年目を迎える。「こども110番」発祥校として知られ、地域の方々や頼もしい学校応援団(シルバーパトロール隊・お話よむよむ・ぴかぴか隊・学習環境ボランティア等)に支えられた学校である。コミュニティ・スクール7年目となり、地域との連携を深めている。

校歌

中谷 孝雄 作詞
 吉野 一行 作曲

一 自然のみどり なお残る
 野火止の野に 風光り
 小鳥の歌も ほがらかに
 みんな明るく のびのびと
 仲よく元気に 前進だ
 ああ東北 われらの小学校

二 はるかに霞む 富士よりも
 高き希望を いだきつつ
 大地を踏んで 立つわれら
 みんなこころも さわやかに
 仲よく元気に 前進だ
 ああ東北 われらの小学校

三 かがやく朝日 むさし野の
 空ひろびろと 限りなく
 われらのゆく手 照らすなり
 みんな手をとり すこやかに
 仲よく元気に 前進だ
 ああ東北 われらの小学校



令和6年度 新座市立東北小学校 グランドデザイン



<p>〈国の法令等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法、教育基本法 ○学習指導要領「生きる力の育成」 資質・能力の3つの柱 ○令和の日本型学校教育 個別最適な学び、協働的な学び <p>〈保護者・地域の願い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に根ざした魅力ある学校 ○安心・安全な学校 ○地域とともにつくる学校 	<p>学校教育目標</p> <p>「なかよく元気な子」 ・思いやりと助け合う心 ・挨拶と感謝の心</p> <p>「よく考える子」 ・健康増進、体力向上 ・思考力、判断力、表現力 ・学びに向かう力</p> <p>「すすんで働く子」 ・体験、好奇心 ・努力と奉仕の心 ・耐性と責任感</p> <p>・目標と強い意志</p>	<p>〈埼玉県の施策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第4期教育振興基本計画 (令和6～令和10年度) ○埼玉県教育重点施策 ○指導の重点・努力点 <p>〈新座市教育大綱 基本理念〉</p> <p>はぐくもう 共に生きる力と豊かな心 ～だれもが自分らしく 幸せに生きるために～</p>
---	--	--

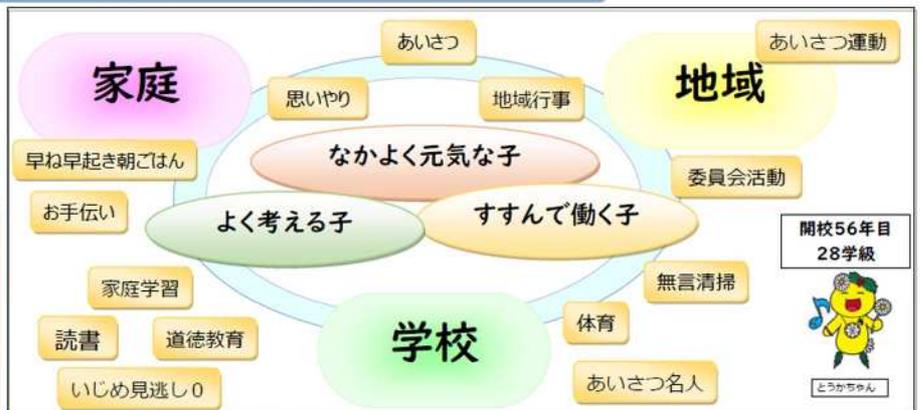
笑顔いっぱい 歌声響く 東北小学校
 ～ 活気と潤いのある学校 ～

目指す学校像

- ・児童が元気に登校する学校
- ・明るく美しい学校
- ・自信と力のつく学校
- ・信頼される学校

目指す教師像

- 1 笑顔で接する教師
児童を真ん中においた心
- 2 人間性豊かな教師
温かさとしなやかさ、メリハリのある指導
- 3 学ぶ喜び・わかる楽しさを教えられる教師
共に学ぶ姿勢
- 4 学び続ける教師
研究と修養に努める向上心
- 5 保護者・地域とともに学ぶ教師
傾聴し、寄り添う心



開校56年目
28学級



とうかちゃん

変える勇気と変わる覚悟

これまでの成果を継承するとともに従前主義や前年踏襲を退歩と捉え、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討、工夫に熟慮と創意をもって組織的・継続的にPDCAマネジメントサイクルに取り組む。

主体的・対話的で深い学び

新学習指導要領の着実な実施とともに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上、アクティブ・ラーニングの視点による授業改善、ICT機器の有効活用など、教育課程の編成・実施・評価に組織的に取り組む。

学校経営の基本方針

インクルーシブ教育の推進

すべての児童ができるだけ同じ場で共に学ぶことを目指し、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるよう、環境を整備する。

学ぶにふさわしい学習環境づくり

児童が、安心して学べる安全で清潔で趣のある学校であるため、教育環境の点検及び整備に取り組む。
いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ見逃し0に取り組む。

率先垂範・ワークライフバランス

児童・保護者・地域から信頼される学校職員であるため、不祥事等の教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、職員の健康と安全に配慮した学校運営を推進する。

新座市立野火止小学校

=シンボルの木及び花= 新座市教育委員会 コミュニティ・スクール指定校

木 いちよう
花 カンナ



『全ての児童が確実に伸びる学校』をめざして
※CS協議会の「熟議」を深める学校
・人間的なふれあいを大切にする学校
・教職員が互いに磨き合い高め合う学校
・保護者や地域の人々に信頼され誇れる学校
・児童が学びやすい環境をもち、安全・安心が確保された学校



校長 丹代 円
教頭 大久保 洸
創立 昭和46年4月1日
児童数 557名
教職員数 31名
学級数 21学級(うち特別支援学級3)
所在地 新座市野火止四丁目9番1号
電話 048-477-1211
FAX 048-482-6792
ホームページ
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-nobitome/>

《プロフィール》

学校地域教育目標「考え学ぶ子・仲よくする子・たくましい子・地域を愛する子」のもと、開校54年目を迎える本校は、学校・家庭・地域が連携し、豊かな環境づくりを行う中で、児童の健全育成を目指している。平成25年度より県内では2番目となるコミュニティ・スクール指定校となり、「コミュニティ・スクール協議会(CS協議会)」を発足させ、保護者・地域代表や有識者からなる委員の方々の承認を受けながら学校経営を進めている。

新座市教育委員会の委嘱を受け、よく考え、深く学ぶ、のびっ子の育成の研究を行う中で、保護者・地域とともに「のびゆく のびっ子 プロジェクト」を推進している。

<p>一 みどりゆたかな 歴史をしるす はげむうたごえ みんな楽しく われらのつど 野火止小学校</p>	<p>二 えがお明るく まことをいつも からだをきたえ みんな仲よく われらのそだつ 野火止小学校</p>	<p>三 いちようのこずえ 未来をめざす みなぎる力 みんな正しく われらのほまれ 野火止小学校</p>	<p>校歌 吉川 武男 作詞 池田 文三 作曲 村田 英夫 作曲</p>
--	---	--	--

令和6年度 野火止小学校グランドデザイン

コミュニティ・スクール野火止 since 2013 (CS指定12年目)

<学校地域教育目標>
○考え学ぶ子 ○仲よくする子 ○たくましい子 ○地域を愛する子

<目指す学校像>
『全ての児童が確実に伸びる学校』
～ のびゆく のびっ子 プロジェクト 令和6年度 ver.～

今年度の重点

保護者地域の人々に信頼され誇れる学校

学校応援団

教職員が互いに磨き合い高め合う学校

学校研修

<目指す教師像>
・児童一人ひとりを丁寧に見届ける
・授業・研修を大切に
・保護者・地域の願いを受け止める
・互いの立場を思いやり協働の気持ちを大切に

<目指す児童像>

(知)
・自ら課題をもち、進んで物事に取り組む子
・主体的・対話的に学び、考えを深めることができる子
(徳)
・やさしさと思いやりをもち、認め合い、協力し合える子
・よりよく生きることができるよう、自ら考え決定できる子
(体)
・健康安全に気を配り、自ら身体と心をきたえる子
・目標をもち、ねばり強く最後までがんばる子
(地域)
・地域に関心をもち、支援に感謝できる子
・自らの役割を意識し、責任をもって果たす子

人間的なふれあいを大切にする学校

特色ある教育活動

学びの環境

児童が学びやすい環境をもち、安全・安心が確保された学校

今年度の努力点

家庭・地域との緊密な連携

- 「コミュニティ・スクール協議会」を生かした地域連携の推進
- 大学や民間企業・地域の公共機関などとの連携事業の実施
- 地域行事等への積極的参加
- 家庭・地域と連携したのびっ子プロジェクトの推進
- 音楽会と作品展の隔年開催

学力の向上

- 学習の個性化を図った授業づくり
- 基礎基本の徹底(けいぞくタイム)
- 主体的・対話的で深い学び
- 思考力・判断力・表現力を高める指導
- 少人数指導の充実
- 家庭学習の習慣化
- 一人一台端末を活用したICT教育の充実
- 専科指導、教科担任の推進

心豊かな児童の育成

- 基本的な生活習慣の確立
- 道徳授業の充実
- 凡事徹底(無高清掃など)
- 保護者、地域と協力しての挨拶指導
- 大切にしたい4つの言葉
- 凡事徹底

体力の向上

- 体育授業の充実
- 体力づくりの時間や場の設定
- スキルアップキャンペーンの実施
- 体力アップカードの活用
- 外遊びの励行(のびのびの日)
- 正しい食事の習慣化
- 正しい歯磨きの徹底

学習環境の整備

- 豊かな学習環境づくりの推進
- のびっこ田んぼ、草花等の植栽による緑豊かな環境
- 七ヶ丘を活用した体験学習
- 掲示物等潤いのある環境
- 施設設備の常時点検
- 縦割り清掃の実施

地域とともに豊かな学びを創造し 地域の絆を深める学校づくり

新座市立野寺小学校 新座市教育委員会 コミュニティ・スクール指定校



＝シンボルの木及び花＝
 木 ヒマラヤスギ
 花 たんぽぽ

学校教育目標
 ・よく聴きよく考える子
 ・心のゆたかな子
 ・からだのじょうぶな子



《プロフィール》

本校は新座市の南西部に位置し、西東京市及び練馬区に隣接する埼玉県最南端の学校である。古くからの農家も散在し落ち着いた環境であるが、近年住宅が増え、児童数も増加傾向にある。開校53年目となる。家庭・地域の方々とはとても協力的で学校応援団活動も盛んな学校である。令和2年度に、地域学校協働活動文部科学大臣表彰を受けた。

学校研究では令和6年度より、新座市教育委員会の研究委嘱を受け、「感動ある学習の創造～互いが育つかわかりのできる子をめざして～」をテーマに、全教職員が授業研究を中心に研究に取り組んでいる。

校長 岡田 智彦
 教頭 宮澤 直美
 創立 昭和47年4月1日

児童数 710名
 教職員数 38名
 学級数 26学級（うち特別支援学級3）
 所在地 新座市野寺五丁目1番24号
 電話 042-473-9453
 F A X 042-477-1673
 ホームページ
<http://www.e-nodera-c-niiza.edumap.jp>

新座野寺の 鐘のこえ
 めぐみの水よ 伊豆堀よ
 遠くはるかな昔から
 香りつたえる そのころ
 むねに生かして 学ぼうよ

ここに植える 三本の
 元氣 本氣 根氣の木
 おおきくのびて
 明日をよぶ
 野寺小の われら
 太陽の子 われら

みどりゆたかな むさし野の
 明るい花よ たんぽぽよ
 空にかがやく太陽に
 光るひとみを きらめかし
 のぞみあふれて 進もうよ

校歌
 太陽の子われら
 関根 栄一 作詞
 湯山 昭 作曲

～家庭・地域とともに一人一人が輝く野寺小学校～ グランドデザイン

学校研究
「感動ある学習の創造」
 ～心豊かな学びを創る～

通級指導教室
 ふらねっとルーム
 2年目

指導形態の工夫
 教科担任制

はっきりとした声で
 あいさつと返事

目標児童像

- よく聴き、よく考え、よく表現できる子
- 思いやりをもち、協調して生活する子
- 運動に親しみ、ねばり強くがんばる子

情報モラル
 著作権や肖像権に関する教育

「野寺っ子の一日」
 学習ルールの
 共通理解
 共通指導

埼玉県
 《基本理念》
 豊かな学びで
 未来を拓く埼玉教育
 《教職員 MOTTO》
 未来を創る、こどもたち。
 未来を育てる、わたしたち。

体験的な学習の充実
 5年野寺田んぼ

学校運営協議会
 PTA（家庭）
 学校応援団
 地域との連携

目標教職員像

- 笑顔、健康、人間性豊か
- 学ぶ喜び・わかる楽しさを伝えることができる
- 協力して問題解決を図る
- 高い倫理観を持ち、服務規律を遵守する

ICT、タブレット、AI 教材の活用

たんぽぽのように
 やさしく
 つよく
 のびのびと

新座市立野寺小学校

読書活動推進
 いろいろ読もう
 たくさん読もう

誰一人取り残さない
 多様性に配慮した
 教育活動

目標授業像

- 子どもが主役
- 学び合いのある授業
- めあてと振り返りのある授業

新座市立池田小学校

=シンボルの木及び花=

学校教育目標「健康で よく学ぶ 心のゆたかな子」

木 やまぎくら
花 アジサイ



校長 鶴田 千尋

教頭 大関 岳広

創立 昭和47年6月15日

児童数 430名

教職員数 42名

学級数 18学級(うち特別支援学級3)

所在地 新座市池田四丁目8番49号

電話 048-479-4051

FAX 048-482-6793

ホームページ

<https://e-ikedac-niiza.edumap.jp>

《プロフィール》

やまぎくらの大木が校庭の真ん中にそびえ、四季の変化を教えながら子供たちを見守っている。

今年度は、令和4年度から新座市教育委員会研究委嘱の3年目となり、「自分の未来を創造できる児童の育成」という研究主題のもと、学級活動を中心とした自己有用感を高める研究を行い、11月に研究発表会を実施する。また、1年生からQubenaを取り入れた学習を行い、ICTを積極的に活用した教育活動を進めている。

本校のシンボルである「やまぎくら」を守り、地域や家庭との連携を深め、やまぎくらと共に成長する「やる気、ゆう気、げん気あふれる学校」をめざしていく。

一	むさしのの丘に 光映え 窓に明るく 声はずむ ぼくたち わたしたち みんな仲よく 手をつなぎ ああ 学びあう 池田小学校
二	かがやける庭に さきほこる 花のゆたかき すこやかき ぼくたち わたしたち 人間の心の ふるさとを ああ 学びあう 池田小学校
三	はるかなる空に 高くとべ 明日に向かって はばたこう ぼくたち わたしたち 強き身体と その笑顔 ああ 学びあう 池田小学校

校

歌
校歌制定委員会
選定補作 作詞
加藤 知典 作曲

令和6年度 新座市立池田小学校グランドデザイン

「やる気 ゆう気 げん気」あふれる池田っ子の育成を目指して

Society5.0時代を生き抜く児童を育てる池田小学校 ―学習の個別最適化・多様な協働学習の推進―

学校のシンボル: やまぎくら

【教育関係法規等】

- 日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法
- 学習指導要領 ○埼玉県小学校教育課程編成要領
- 埼玉県教育行政重点施策
- 埼玉県教育委員会「指導の重点・努力点」
- 新座市教育委員会「指導のてびき」

学校教育目標
健康で よく学ぶ 心のゆたかな子

【今年度の成果目標】

☆学力(子供の学力の保障)

- ・全国・県学力・学習状況調査の正答率及び伸び率の上昇
- ・校内学力テストの正答率95%以上

☆誰一人として取り残さない指導(教職員の資質・指導力)

- ・ICTの効果的な活用によるアクティブラーニングの実施
- ・授業を常に振り返り、改善していける教職員の育成

☆働き方の改革(働く時間とすべきことの選別・実践)

- ・持ち帰り仕事の削減と超過勤務360時間/年以内

【新座市教育大綱基本目標】

- 1 家庭や地域が一体となった就学前教育の推進
- 2 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進
- 3 心豊かで健全な青少年の育成の推進
- 4 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承
- 5 教育施設の整備・充実の推進

【目指す教師像】

「**初志貫徹・率先垂範、聡明英知、有言実行できる教師**」

- ① 子供の成長を第一に考え、行動する教師
- ② 率先垂範、英知を結集し、共通理解・共通行動・共通協働する教師
- ③ 自らの授業を振り返り、常に授業改善に真剣に取り組む、学力向上に結びつける教師
- ④ 心身共に健康で、自らのよさを表現して、子供に関われる教師

【目指す児童像】

○健康な子(げん気)

- ・自他の生命の尊厳を知り、安全や健康に気をつけることができる子
- ・ねばり強く取り組み、自分を鍛えることができる子
- ・自分の健康を自ら守ろうとすることができる子
- ・体力向上に取り組む子

○よく学ぶ子(やる気)

- ・話を最後まで聞くことができる子
- ・自分の考えをはっきり表現できる子
- ・学ぼうとする意欲を持つことができる子
- ・自分の考えを持ち課題を追求できる子

○心の豊かな子(ゆう気)

- ・はっきりと気持ちよく挨拶や返事ができる子
- ・相手の気持ちを思いやり、行動することができる子
- ・他の人や自分を大切にし、行動することができる子
- ・自然を愛し、美しいものや良いものに感動できる子

【目指す保護者像】

- ① 子供に基本的なしつけを的確にできる保護者
- ② 子供の生活のリズムや食生活に力をつくす保護者
- ③ 子供によく声をかけたり、よく話を聞いたり、共に語ることができる保護者
- ④ 地域とふれ合って子供を育てる保護者

【目指す学校像】

- ① 教職員が範を示し、自らも学び続ける学校
- ② 満足感や達成感、充実感に満ちた児童の笑顔が輝く学校
- ③ 保護者や地域から親しまれ、認められ、信頼される学校
- ④ 落ち着きと美しさ、活気のある学校

【学校力を支える6つのキーワード】

- 1 **教職員の率先垂範** 「教職員は児童の人生に大きな影響を与える存在。その立場がまず範を示す」
- 2 **有言実行** 「自らのよさ・可能性を生かし、目標を立て、責任を持って教育活動を実践する」
- 3 **人権感覚** 「自分の大切さ、他の人を大切にできる学校環境をつくり、態度や行動で表す(あおい心を形に)」
- 4 **積極的地域対応** 「地域を知り、関わり、地域の人材・環境を学校へ、学校も地域に飛び出す」
- 5 **現状打破** 「わずかな変化を求め、組織で対応しながら、教育活動等を構築していく」
- 6 **凡事徹底** 「当たり前のことを実践する中から、学校として誇れることを徹底的に実践する」

目標実現へ 学校経営の重点・努力点(具現化に向けた主な取組)

委嘱研究発表会(学級活動を中心に自己有用感を高める)への取組充実

【確かな学力の向上】

- ICT機器等を活用した授業
- 学習規律の確認と徹底
- 1時間毎のわかる授業の展開(向かえるようになったのか)
- 個別最適化、多様な協働学習
- 教科担任制・交換授業の充実
- 家庭学習の充実・強化
- 学校図書館、読書活動の充実

【豊かな心の育成】

- 教育相談・生徒指導の推進
- 特別支援教育の推進
- 各種職員、関係機関との連携
- 人権教育、道徳教育の推進
- 学校課題研究・研修の活用
- キャリア教育の充実
- 作文指導(校内掲示新聞投稿)

【健やかな体の育成と体力の向上】

- 体育授業の充実と外遊びによる健康増進(身体力の確保)
- 健康教育の推進(肥満対策の指導)
- 「早寝早起き朝ごはん」の推進
- 大学・外部機関との連携、栄養教諭を中心とした食育の推進

【教職員の資質向上に向けた研修】

- 学校課題研究の積極的な取組
- ライフステージにおける積極的研修への参加、研修の機会充実
- 研究発表会等の研修へ積極的に参加
- 管理職参観の授業公開
- 自己評価シートにおける具体的目標設定

【家庭・地域との連携】

- コミュニティ・スクールの充実
- 学校運営協議会の充実
- 地域(外部)人材の積極的活用
- 学校便り、学校HPの充実、校外への発信
- 三つの町会、第三中ブロック、坊・保・高との連携

【危機管理の徹底と施設の有効活用】

- 教育公務員として自覚と責任による職務遂行
- 教職員倫理確立委員会の実施
- 働き方改革(20時終業制等)
- 日々の安全管理、整理整頓
- 言語療法、教育環境の整備

78

新座市立新堀小学校



校長 若林 寿
 教頭 池谷 ひろみ
 創立 昭和49年4月1日
 児童数 450名
 教職員数 32名
 学級数 18学級(うち特別支援学級2)
 所在地 新座市新堀一丁目16番5号
 電話 042-493-7551
 FAX 042-495-7693
 ホームページ
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>

=シンボルの木及び花=

木 はなみぎき
 花 すみれ
 《プロフィール》
 学校教育目標



「学ぶ子ども 仲よくする子ども 健康な子ども はたらく子ども」

市の最西端に位置し、東久留米市と清瀬市に挟まれた細長い学区にある。学区の周囲には、畑や雑木林が残っており、落ち着いた教育環境である。

令和4年度から3ヵ年、新座市教育委員会の委嘱を受け、研究主題「自己の考えを広げ表現する児童の育成」のもと、指導者を招聘しての理論研修、授業実践に取り組んでいる。

目指す学校像「未来の社会を生き抜く力の基礎を築く学校」、CS 新堀小「学校と社会をつなぎ、新堀小の子どもたちに未来を拓く」の教育理念のもと、「グローバル人材の育成」と「情報化への対応」を指導の重点に、自ら学び実践できる子の育成を目指している。

NE

令和6(2024)年度
新座市立新堀小学校グランドデザイン
 Niiza-City Shinbori Elementary School

学校教育目標

- 学ぶ子ども
- 仲よくする子ども
- 健康な子ども
- はたらく子ども

研究テーマ R4~6年度
 「自己の考えを広げ、表現する児童の育成」
国語、算数、外国語、外国語活動

学校像：未来の社会を生き抜く力の基礎を築く学校

ミッション：グローバル人材の育成、ICT化への対応

CS教育理念：学校と社会をつなぎ子供たちの未来を拓く

校訓 **禮儀れいぎ 質朴しつぱく 自治じち** ※西堀小から継承
 合い言葉 **スマイル&チャレンジ**

スマイル = Well-being 「やってみよう」「ありがたう」「なんどかなる」「ありのまま」
 ...子どもたちが安心してできる環境の中で幸せを感じ、生き生きと色々なことに取り組み、好きなことをみつけ、個性や得意を伸ばしている学校にしたい
スマイル = 思いやり・感謝、自己理解、発想的思考、自己有用感、多様性の尊重、
 英語、算数、協働、礼儀、公共心、規範意識等
チャレンジ = 主体性、内発的動機、向上心、自立、創造性、批判的思考、探求心、
 課題解決、ICTの活用、失敗を恐れないこと、新しい価値を生み出すこと等

新堀小の特色 strong point(強味)

ONE TEAM & OUR TEAM <small>多様性・協働 主体性発掘・挑戦 学習活動</small> 校務会 学校医検団 コミセン・町内会 委員会 委員会	学校経営協議会 ミライプラス 新堀小 児童の成長 NPO 大学・専門機関 たよな×ソニー教育財団	子どもも大人も 自己実現できる場所 あそび亭×JELLY JELLY CAFE 新座 ありがき産産院
---	--	---

○西堀・新堀コミュニティセンターとのコラボレーション⇒公共性、日本人としてのアイデンティティ

- ◇新堀小の教育活動の広報の場(パネル掲示、写真のスライドショー毎月更新)
- ◇施設見学と利用者との交流
- ◇和室(茶室)を利用して茶道クラブが活動
- ◇夏季休業中の自主学習教室
- ◇児童によるPC教室等

○年間を通したインターナショナルスクールCAJ (Christian Academy in Japan) との交流学習⇒異文化理解、語学力

- ◇交換留学体験(新堀小児童 春休みにCAJへ、CAJ児童 6月に新堀小へ)
- ◇直接交流GO&COME
 GO: 2年生・6年生CAJツアー、COME: CAJ4th児童来校 4~6年生と交流
- ◇職員交流、合同研修会

○ゲストティーチャーによる保護者参加型特別授業～約の国語学習開校公開⇒幅広い教養と専門性、課題発見能力、公共性

- 1年生「イロのフシギ」**発想力** K.I.T虎ノ門大学院教授 三谷宏治先生
- 2年生「子どもの姿勢」**健康教育** 東京有明医療大学 小山浩司先生
- 3年生「絵画教室(燈明づくり)」**自分らしく** 新堀一丁目在住 画家 森若らへ先生
- 4年生「認知症対応 対応者養成講習」**認知症理解** 西堀新堀高齢者支援センター
- 5年生「起業」**キャリア教育** Highsta(歴史カードゲーム制作) 学生CEO 渡辺琢磨先生
- 6年生「命の授業」**命教育** 順天堂大学名誉教授 橋野典夫先生

○社会と連携したものづくりPBL (Project Based Learning) ⇒コミュニケーション能力、協調性、課題発見・解決能力

- ◇「クリエイティブアドベンチャー」夢のゲーム機をつくらう(3年生総合的な学習時間) 指導者は、ゲーム機を開発している現役のエンジニア、ゲーム機というモノづくりを通して、製品開発のプロセスを経験 **キャリア教育**
 【主催】(社) たよなメソニー教育財団【協賛】
- ◇海外の相手校との年間を通した学び～アートマイル国際協働学習⇒異文化理解、コミュニケーション能力、協調性、課題発見・解決能力
- ◇インターネットを使って、自分達の身近にあるSDGsの課題とつなげて、海外の相手校の同世代と対話的・協働的に学ぶ1年間を通して取り組むプロジェクトベースの学習(6年生総合的な学習の時間) **グローバル化**
 【主催】(財) JAMジャパンアートマイル(文科省【後援】、JAIC【協力】)

教員研修

- 授業研究イマージョンプログラム⇒異文化理解、幅広い教養と深い専門性(教職員)
- ◇授業研究イマージョンプログラム(11月) 欧州・米国等から外国人教師が来校 **グローバル化**
 「東京学芸大学 授業研究ラボIMPULS」と「米国Lesson Study Alliance」との連携
 ①児童との交流や授業参観 ②本校教員との合同研修会等を実施
- 米国スクールサイコロジストとの連携⇒異文化理解、幅広い教養と深い専門性(教職員)
- ◇米国イリノイ州認定スクールサイコロジストによる研修会(対面研修6月、オンライン・電子メール相談 通年)
グローバル化 不登校 問題行動
 米国の教育相談・生徒指導、特別支援教育のスペシャリストから学ぶ

学校応援団活動⇒公共性、日本人としてのアイデンティティ

楽農会 華や花会 毎週月曜日9:30~11:00 活動場所：新堀小ファーム 野菜作り、華装園、花壇の整備	新堀小読み聞かせ会 毎月第2月曜日8:25~9:35 集合場所：1F学校図書室 全クラス一斉読み聞かせ	1年生スマイルサポーター 給食、掃除、休み時間等 活動場所：1年生教室 1年生が安心して学校生活がスタートできるようなサポート
--	---	--

エレガンスの会
 毎月第3金曜日10:00~11:30
 活動場所：1Fコフレンド教室
 ハンドマッサージ、楽しくお話

図書ボランティア
 ①図書室の作りつけ
 ②本の保証
 ③その他、読書の推進活動
 随時発表

四 厳しい冬の 風の中 樺は根を張り 天指している そうだ雄々しい 樹のように われら 新堀小学生 強くたくましく 生きようよ	三 富士山望む 武蔵野に 紅葉色づく 柿の実光る そうだ豊かな 野のように 教えしっかり 胸にどめ 明日の実り 築こうよ	二 ゆかしい歴史 野火止の 水はきらめく 夏雲映える そうだ 輝く陽のように あつい友情 胸に抱き 仲よく学び 励もうよ	一 台地の朝の そよ風に 若草萌える 花咲き匂う そうだ かわいい芽のように 希望大きく 胸に秘め 青空さして 伸びようよ
--	---	---	--

校 歌

小林 芳仁 作詞
 松尾 篤興 作曲

新座市立東野小学校

=シンボルの木及び花=

木 くぬぎ

花 サルビア



《プロフィール》

学校教育目標「おおらかで たくましく 進んで学ぶ子 地域とともに生きる子」

武蔵野の雑木林を切り開いて建てられた学校で、今年で開校51周年目を迎える。目指す学校像「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」の実現に向け、日々の教育活動を進めている。PTA活動、学校応援団の活動も充実しており、本校の花壇はいつも明るく彩られている。地域に愛され親しまれる開かれた学校を目指している。

校長 齋藤 伸一

教頭 桜井 遊

創立 昭和49年4月1日

児童数 764名

教職員数 70名

学級数 28学級（うち特別支援学級4）

所在地 新座市野火止六丁目 22番 12号

電話 048-479-7280

FAX 048-482-6794

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-higashino/>

校

歌
岡辰男
浦かずお
折山俊也
作詞
補作
作曲

一 朝日に映える武蔵野の
緑豊かな学びやに
明るく集う君とぼく
心をあわせてたくましく
若い力をきたえよう
われらが東野小学校

二 歴史に残る野火止の
光かがやく学びやに
仲良く集う私たち
今日も笑顔ですこやかに
豊かな心育てよう
われらが東野小学校

三 空すみわたる東野の
風はさやかな学びやに
楽しく集う仲間たち
明日の夢を語りつつ
ともに手をとり学びあう
われらが東野小学校

令和6年度 新座市立東野小学校 グランドデザイン



学校教育目標

おおらかで たくましく 進んで学ぶ子
地域とともに生きる子

- おおらかで（徳・規律ある態度）
- たくましく（体・体力）
- 進んで学ぶ子（知・学力）
- 地域とともに生きる子（地域）



目指す学校像

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」

～一人一人の笑顔と感動、歌声あふれ、深く学び合い、生きる力(夢)をはぐくむ学校～

- (1) 児童が“学びがいが”と実感できる学校
- (2) 保護者にとって“通わせがいが”と実感できる学校
- (3) 地域にとって“応援・協働しがいが”と実感できる学校
- (4) 教職員にとって“働きがいが”と実感できる学校



学校経営方針

- (1) 確かな学力の育成を図る学習指導の充実
- (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- (3) 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化
- (4) 教育環境の整備と充実
- (5) 学校・家庭・地域と一体となった教育の推進（地域を愛する子供の育成）

目指す児童像

自立（ひとりで） 共生（なかよく） 健康（たくましく）

(1) 自立（ひとりで）

- 自ら進んで学ぶ子
- 自ら考え判断し、正しい行動ができる子
- 自ら考え、課題が解決できる子

(2) 共生（なかよく）

- 誰にでも思いやりの心をもって接する子
- みんなで学び合い、みんなのために働く子
- いじめは絶対しない子

(3) 健康（たくましく）

- 進んで運動し、体力をつける子
- 最後まで粘り強く取り組む子
- 早起き・朝ご飯を守って健康な子

目指す教師像

- (1) 研究と修業に励み、児童のよさや可能性を伸ばす教師
- (2) 児童に愛情を注ぐ、人間性豊かな教師
- (3) 互いに切磋琢磨し、組織の一員として協働する教師
- (4) 児童や保護者、地域の期待に応える教師

目指す家庭像（家庭と共に）

- (1) 家族仲良く、明るく、楽しく過ごせる家庭
- (2) 子供をよく理解し、励ましてくれる家庭
- (3) 家族の一員としての、責任と自覚をもたせてくれる家庭
- (4) 学校の方針を理解し、絶えず連絡・協働してくれる家庭
- (5) 望ましい産生活を心掛け、健康づくりをしてくれる家庭

重点目標

HIGASHINO 10

学力・体力の向上

- (3) 児童が主体的に学ぶ姿勢づくりを始め、学習内容の確実な習得を図る
- (8) 体力の向上と健康教育の推進を図る



授業力の向上

- (7) 教職員の授業力や資質向上のための研修の充実を図る
- 令和4・5・6年度新座市教育委員会主催 先生着目、総合的な学習の時間
- 「主体的に思考し、意欲する 授業改善」を目標として



情報化 国際化

地域とともに生きる子

安心安全な学校、家庭・地域の教育力を生かす

- (5) 安全教育と安全管理の徹底を図り、安全安心な教育環境を整える
- (6) 家庭や地域の教育力を効果的に生かし、教育活動の質の向上を図る

生徒指導・児童理解

- 生徒指導・児童理解・学年・学級経営
- (1) 学年・学級経営や生徒指導の充実を図り、信頼関係や好ましい人間関係を築く
- (2) 児童理解を深め、一人一人のよさや可能性の伸長を図る

道徳教育・特別支援教育の充実

- (4) 道徳教育の充実を図り、豊かな人間性や規範意識を培う
- (6) 一人一人の教育的ニーズに適切に対応する特別支援教育の充実を図る

社会の変化に対応した教育の充実

- (9) 情報化・国際化等、社会の変化に対応した教育の充実を図る

新座市立栄小学校

＝シンボルの木及び花＝

木 カエデ

花 日々草

《プロフィール》

開校49年目を迎えた本校は、季節の移ろいを感じさせる豊かな緑に囲まれ、静かで落ち着いた雰囲気のある学校環境にある。

「確かな学力を育て、豊かな人間性を培う」を教育目標とし、「自分が好き、なかが好き、栄が好き」な児童の育成を目指して、SDGs教育をはじめとした多様な教育活動を推進している。

校内研究として、新座市教育委員会の研究委嘱を受けて授業改善に取り組み、「確かな学力を育てる」を研修主題とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に研究を進めている。



校長 浅田 敦子

教頭 関谷 誠

創立 昭和51年4月1日

児童数 306名

教職員数 27名

学級数 14学級

所在地 新座市新塚一丁目1番1号

電話 048-478-3168

FAX 048-482-6796

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-sakae/>

校歌

坂元 彦太郎 作詞
 穴倉 正信 作曲

一 さくらの花が 咲きほこり
 かげろうもえて かすむ富士
 明るい声が はずんでる
 栄小学校 春の歌

二 みどりの松に 風わたり
 汗ばむひたい さわやかに
 げんきなかげが たくましい
 栄小学校 夏の庭

三 すすきのなびく 武蔵野に
 大地をつよく 踏みしめて
 ちからのかぎり 競い合う
 栄小学校 秋の空

四 富士山近く あざやかに
 こころも澄んで しんげんに
 学びのへやに はげみあう
 栄小学校 冬の窓

自分が好き、なかが好き、栄が好き

令和6年度グランドデザイン
新座市立栄小学校

国・県の施策と法令の遵守

日本国憲法 教育基本法
 第4期教育振興基本計画
 学習指導要領 令和の日本型学校教育
 第4期埼玉県教育振興基本計画
～豊かな学びで、未来を拓く埼玉教育～
埼玉県教育行政重点施策

新座市教育委員会の学校教育の指針

一はくもう 共に生きる力と豊かな心

- 学力の定着
- 豊かな心の育成
- 体力の向上
- 家庭・地域との連携
- 文化芸術の推進

学校教育目標 確かな学力を育て、豊かな人間性を培う

目指す学校像 **自分が好き、なかが好き、栄が好き**
 ～ウェルビーイングを実現し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進～

目指す児童像 **さわやかな子 かしこい子 えがおのある子**

目指す教師像 **「栄プライド」(別紙)を実践している教師**
 ウェルビーイングを考える教師

コミュニティ・スクール

学校運営協議会、学校応援団(おやじの会、読み聞かせ、花壇等緑化活動、学習指導支援活動等) 地域人材の活用 地域行事への参加

学校運営協議会

家庭との連携

特色ある栄小の教育活動の展開

★は今年度の重点

さわやかな子
「自立する力と自律の心を育む」

★体力の向上
 (個の継続的な取組の充実、体育授業の充実)
 ○保健・安全教育、食育の充実、安全管理の徹底
 ○進んで挨拶、場に応じた言葉遣いの指導の徹底
 ★デジタル・シティズンシップ教育の推進
 (栄小GIGA宣言)
 ○基本的な生活習慣の指導
 ★教育相談的な生徒指導の推進 (KOKORO タイム)

体力の向上

かしこい子
「豊かな創造力を育む」

○栄小学習スタイルの徹底
 (学習規律、ねらいと振り返り、★指導と評価の一体化)
 ○学力テストの活用
 ★個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 (主体的・対話的で深い学びの実現、ICT機器の積極的な活用、自由進度学習)
 ★探究的な学びの指導の充実
 ○カリキュラム・マネジメント
 ★多様な学びの場の設定
 (異学年交流、地域での学び、教科・チーム担任)

自由進度学習

えがおのある子
「優しい想像力を育む」

★道徳教育・道徳授業の充実
 ★児童を主体とした工夫あるふれあい活動の実施
 ○キャリア教育の推進
 ○読書環境の充実
 ★オリ・バラ教育のレガシーの継承(多様性と共生)
 (バラスポーツの取組、日本文化の理解
 SDGsの取組等)
 ○体験活動の充実
 生活科
 総合的な学習の時間等

栄っ子グループ活動

特別支援教育の推進 (相談体制、指導体制の整備 確かな情報共有 インクルーシブ教育)

新座市立石神小学校



=シンボルの木及び花=

木 梅
花 マリーゴールド
《プロフィール》



本校はPTA組織を主とする学校応援団活動が活発であり、朝のあいさつや登下校時の見守り活動など地域との結びつきも強い。令和4年度には、本校の学校運営協議会を母体とした「あいさつの町 石神」プロジェクトを立ち上げ、継続したあいさつを地域ぐるみで取り組んでいる。

また、正門前の「ふれあいの路」には、学校応援団「どろんこの会」の方々を中心となって、四季折々の花を植えてくださり、自然豊かな環境の中で、保護者、地域に支えられあいさつと笑顔があふれる教育活動を展開している。

令和4年4月より、新座市教育委員会委嘱「学び合いから高める思考力、判断力、表現力」の研究を行っており、本年度発表会を行う。

校長 大井 敏彰
教頭 橋本 康信
創立 昭和51年4月1日
児童数 545名
教職員数 34名
学級数 21学級
所在地 新座市石神一丁目10番20号
電話 048-477-2152
FAX 048-482-6797
ホームページ
<http://www.e-ishigami-c-niiza.edumap.jp>

校歌
藤山 風早 美樹 作詞
一 郎 作曲
青空広がるグラウンドに
話しかけるよ富士の山
光と緑に包まれて
石神の子どもは素直に伸びる
あしたを差しいつでも元気
石神石神楽しい学校に
小鳥鳴く道仲よく通う
考え学ぶ石神われら

あいさつと笑顔があふれ、子供が輝く学校
～ 魅力づくり 環境づくり 人づくり ～

令和6年度
新座市立石神小学校
グランドデザイン

【新座市】(新座市教育大綱) 令和5年～9年
○基本理念
はくくもう 共に生きる力と豊かな心
～だれもが自分らしく幸せに生きるために～
【新座市教育委員会】
○学校教育における5つの指針
学力・豊かな心・体力・連携・文化
～Aggressive Innovation【Change】～
○「にいざGIGAスクールNEXT5.0」の推進

学校教育目標
学び合い
心豊かに
たくましく

〈国・県の施策・法令〉
○日本国憲法 ●埼玉教育の振興に関する大綱
○教育基本法 ●第4期埼玉県教育振興基本計画
○学習指導要領 ●埼玉県教育行政重点施策・指導の重点

【目指す教師像】
・児童一人ひとりを理解し、大切にできる教師
・教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図る教師
・自分自身をアップデートしながら学び続ける教師
・連携と協働を大切にして教育効果を高める教師
・働き方改革の価値を理解し、生き生きと働く教師
・仕事のメリハリ…勤務時間を意識し心身を休める
・プライベートの保障…仕事と同等に生活を大事にする
・複数のチャンネル…教職外で生き方の幅をもつ

【目指す学校像】
・児童1人1人が成長できる学校(人づくり)
・教職員が生き生きと働く学校(魅力づくり)
・教育環境が整い、誰もが居心地のよい学校(環境づくり)
・保護者・地域と共に歩む学校(コミュニティ・スクール)

【本年度の重点・努力点】
1 学力向上と授業改善
・学習規律の確立(話を聞く態度、返事)
・専科教員の複数配置と教科担任制の推進
・ICTの効果的な活用(ロイロノート、キョウペナ等)
・読書活動の推進(毎週第2土曜日は読書の日)
・豊かな心の育成
・「あいさつの町石神プロジェクト」の推進
・道徳教育の充実・児童会活動の充実
・保護者・地域等の外部人材の活用
・学校農園等を活用した自然とのふれあい
・芸術とのふれあい(校内音楽会、芸術鑑賞教室等)
2 体力向上と健康づくり
・体育的行事の実施・外遊びの奨励
・健康教育、心の健康、食育の充実
3 学校課題研究(令和4～6年度) ※本発表
・「学び合いから高める思考力、判断力、表現力」
生徒指導・教育相談
・児童理解の視点に立った組織的な対応
・いじめ事案への適切な対応(ご機嫌な学級づくり)
・不登校児童、相談室登校児童への適切な支援
・組織的な教育相談の実施・他機関との連携
4 特別支援教育
・印の視点を取り入れた授業や教室環境の工夫
・特別支援学級の学びの充実
・車いす児童のインクルーシブ教育(4年)
・計画的な就学相談の実施
5 安全教育
・通学班登校の励行、登下校の安全指導
・避難訓練・引き取り訓練の計画的な実施
・安全点検の確実な実施
6 保護者・地域との連携
・学校運営協議会の連携・学校応援団の充実
・町会(北原、石神、堀の内、本多、西堀)との地域連携
・保護者の教育活動への参画(家庭科補助、九九検定等)
・地域の見守りへの協力要請(民生児童委員等)
7 その他
・学校図書館の活用、読書活動の充実
・倫理確立委員会の確実な実施(年15回以上)
・学校配当予算の計画的な執行

【目指す児童像】
「はくくもう 石神MIND」
～自分らしくと輝きあふれ～
「学び合い」
・人の話をよく聞き、学習規律を身に付け、主体的に学ぶ子
・確かな学力(読・書・算・話・聴)を身に付け、活用できる子
・自分の考えをもち、他者と学び合いながら、高め合える子
・多様な教育資源を活用し、豊かに学ぶ子
「心豊かに」 ※能力伸長の土台
・あいさつや遊事、場に応じた言葉遣いのできる子【M】
・正しい判断力を持ち、自分で考えて行動できる子【I】
・堂々と振る舞い、自分らしさを表現できる子【N】
・他者を思いやり、人の役に立つ行動ができる子【D】
「たくましく」
・運動が好きで、進んで体力の向上に努める子
・丈夫な体を持ち、健康的な生活が送れる子
・あきらめない心を持ち、粘り強く取り組む子
・自らの生活を律しながら、安全な生活が送れる子

M: 礼節 I: 自立 N: 高潔 D: 品格
「MIND」の意味・「MIND」に込めた願い
【M】 お互いが気持ちよく過ごせるように
【I】 自分で考えて行動できるように
【N】 いつも「正々堂々」と「正しい行動」ができるように
【D】 誰からも尊敬されるように
全日本系連連盟HPより引用

新座市立新開小学校



=シンボルの木及び花= =新開小キャッチフレーズ=

木 なしの木 太陽のように ひまわりのように
花 ひまわり



《プロフィール》

本校は、市内16番目に開校し、今年、開校48年目を迎える。「かしこい子・心ゆたかな子・たくましい子」の教育目標のもと、「どの子どももみんなの一分の一」を合言葉に、一人一人の児童に最適な支援を行い、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりを目指している。特に今年度は、(1)自分から挨拶、(2)ICT機器を活用した個別最適な学びの充実、(3)積極的な生徒指導による安定した学級づくり、(4)体力向上と食育の充実、(5)家庭・地域との信頼関係の構築を指導の重点に置き、「生きる力」すなわち、将来、幸せな人生を歩むために必要な自立する力を身に付けた児童の育成に努めている。

また、今年度より、新座市教育委員会から3年間の研究委嘱を受け、主題を「主体的に問いを追究・解決しようとする児童の育成」とし、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して学力向上を図る研究を進めている。

校長 八代 剛
 教頭 本田 真智子
 創立 昭和52年4月1日
 児童数 399名
 教職員数 27名
 学級数 17学級(うち特別支援学級3)
 所在地 新座市大和田一丁目22番10号
 電話 048-477-6370
 F A X 048-482-6798
 ホームページ
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinkai/>

	三	二	一	校
あ	庭	な	胸	
あ	の	し	に	
ひ	お	の	ひ	
ら	も	花	と	
わ	お	咲	み	
れ	も	く	に	
ら	影	く	太	
あ	風	春	陽	
あ	の	の	の	
ひ	音	日	を	
ら		を		
わ		共		
れ		に		
ら		鍛		
あ		え		
あ		て		
ひ		た		
ら		く		
わ		ま		
れ		し		
ら		く		
あ		か		
あ		が		
ひ		や		
ら		こ		
わ		う		
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				
あ				
あ				
ひ				
ら				
わ				
れ				
ら				

新座市立栗原小学校



=シンボルの木及び花=

木 レンギョウ

花 アゲラタム(和名:カッコウアザミ)

《プロフィール》

キャッチフレーズは「学校大好き!輝くひとみいっぱい 栗原小学校」である。

豊かな緑に恵まれた校庭には、元気に遊ぶ子供たちの姿があふれ、学校・家庭・地域が連携し、学校教育目標「よく考え学ぶ子」「心のゆたかな子」「たくましい子」の実現を目指して教育活動を進めている。

令和4年度より「学びを深め、思いや考えを豊かに表現する児童の育成」をテーマに学力向上を目指している。特に、児童相互の交流をととして思考力、判断力、表現力等を高める活動を行っている。

また、本校は学習支援や教育環境整備等の学校内週刊の活動が盛んで、保護者・地域との関わりをもとに特色ある教育活動を展開している。



校長 古澤 健史
 教頭 村石 和久
 創立 昭和53年4月1日
 児童数 363名
 教職員数 23名
 学級数 15学級
 所在地 新座市栗原一丁目5番1号
 電話 042-473-7070
 F A X 042-477-1625
 ホームページ
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>

校歌
 加藤 省吾 作詞
 瀬下 健二 作曲
 一 栗の花房 匂うよに
 チャイムの鐘に 並ぶ顔
 みんな若木だ すくすくと
 伸びよう ぼくたち わたしたち
 希望にもえる 栗原 栗原小学校
 二 みどり色濃い 平林寺
 弁天池に わく泉
 みんな若木だ 武蔵野に
 かがやく ぼくたち わたしたち
 紅葉に映える 栗原 栗原小学校
 三 こころ豊かに たくましく
 力を合わせ どこまでも
 みんな若木だ 輪になつて
 学ぼう ぼくたち わたしたち
 学べる新座 栗原 栗原小学校

令和6年度
開校47年目

学校大好き!

輝くひとみいっぱい 栗原小学校
~高めよう 栗原MIND~

新座市立栗原小学校
グランドデザイン

〈新座市教育大綱〉

○基本理念
はぐくもう 豊かな心へだれもが自分らしく幸せに生きるために~

○基本目標

- 1 家庭や地域が一体となった就学前教育の推進
- 2 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進
- 3 心豊かで健全な青少年の育成の推進
- 4 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承
- 5 教育施設の整備・充実の推進

○今日的な課題への対応

- ◇アフターコロナにおける教育活動の充実
- ◇一人一台端末の効果的な利活用
- ◇児童一人一人への理解と支援の充実

学校教育目標

- ・よく考え学ぶ子
- ・心のゆたかな子
- ・たくましい子

〈国・県の施策・法令〉

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 第4期埼玉県教育振興基本計画「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」
- 埼玉県教育行政重点施策・指導の重点

保護者・地域の願い

コミュニティ・スクール

保護者・地域とともにある学校

【目指す学校像】

- ・元氣な学校(明るい挨拶と返事、正々堂々とした言動、主体性)
- ・明るく美しい学校(学道が育まる環境、行徳観に導かれ、校内規制)
- ・自信と力のつく学校(確かな学力・体力の育成、学校行事や体験活動の充実)
- ・保護者・地域とともにある学校(家庭・地域との連携と信頼)

【目指す児童像】

- ・主体的に学ぶ子(主体的に学ぶ態度、思考力・判断力・表現力)
- ・心のゆたかな子(豊かな感受性、認め合い・関わり合い)
- ・進んで運動する子(外遊びの奨励、体力向上の取組)

【目指す教師像】

- 1 笑顔で接する教師
- 2 授業で伸ばす教師
- 3 児童一人一人を理解し、伴走する教師
- 4 学び続ける教師
- 5 保護者・地域とともに学ぶ教師

【学校経営方針】

~ 栗原小学校の子供たち一人一人の最適な学びのために ~

- 1 学校教育目標を全ての教育活動の指針とする。
- 2 課題意識をもち、常に点検・評価しながら、その解決に努める。
- 3 児童に個別最適な学びの機会を提供し、その資力・能力の伸長に努める。
- 4 豊かな人間性を育む教育環境の整備・充実に努める。
- 5 コミュニティ・スクールとして、家庭・地域とともにある学校を目指す。

【本年度の重点・努力点】

- 1 学習指導の充実と校内研修の推進
 - ・令和の日本型学校教育の推進
 - ・研究課題の共通理解と校内研修の充実(教員同士の学び合いを核に)
 - ・教科担任制の推進と活用
 - ・ICTを活用した学習活動の充実
- 2 児童理解に基づく生徒指導の推進
 - ・程を大切に、児童同士の関わりを深める学級経営
 - ・明るい挨拶とはっきりとした返事の徹底
 - ・教育相談の充実
 - ・特別支援教育の推進と充実
 - ・子供の人権尊重(体罰・暴言・悪口・「さん」付けの徹底)
- 3 健康な体・体力づくりの推進
 - ・体力向上のための風気整備、外遊びの奨励
- 4 豊かな人間性を育む教育の推進
 - ・自主的・創造的な集団活動の充実
 - ・学校図書活用と読書活動の充実
 - ・考え議論する道徳(実践)実践記録の蓄積
- 5 豊かな心を育む教育環境の整備、美化
 - ・「整える美しさ」による美化
 - ・掲示教育の充実(作品をおとした異学年交流)
 - ・「もくもく、すみすみ 15分」清掃の徹底
- 6 保護者・地域との緊密な連携
 - ・懇談会参加率向上・迅速・誠実・丁寧な対応
 - ・学校内探団活動の充実(コミュニティ・スクール)
- 7 教職員の健康の保持増進
 - ・業務の効率化・授業時間数の見直し
 - ・ワーク・ライフ・バランスの実現
 - ・休憩時間の確保・リユース、リサイクル、ペーパーレスの推進

新座市立陣屋小学校



= シンボルの木及び花 =

木 こぶし
花 アヤメ

《プロフィール》



平林寺や野火止用水に隣接し、市役所や市民会館、市立中央図書館など市の主要施設にも囲まれ、緑豊かな自然環境に恵まれた陣屋小学校は、今年度開校46年目を迎える。「かしこく やさしく たくましく 瞳いきいき 陣屋小学校」を目指す学校像とし、未来に向かって学び合い伸び合う子の育成につとめている。

陣屋小の地域に残る茶道や和太鼓等、文化や歴史を通して豊かな心を育みつつ、廊下歩行、無言清掃、あいさつ等も積極的に推進しながら、「陣屋っ子の自信と誇り」を高める取組を行っている。

また、令和4年度より特別支援学級「こぶし」が新設。インクルーシブ教育の具現化を目指す。

校長 保戸田 雅之
教頭 池崎 麻里
創立 昭和54年4月1日
児童数 402名

教職員数 36名

学級数 15学級

所在地 新座市野火止一丁目18番20号

電話 048-479-7231

FAX 048-482-6799

ホームページ

<https://e-jinya-c-niiza.edumap.jp/>

校歌

中村 千栄子 作詞
岩河 三郎 作曲

一
まぶしい緑に 囲まれて
風も光るよ 野火止に
さあ 瞳 いきいき
考える子ども
かぎす こぶしに 太陽を
ぐんと つかんで 伸びようよ

二
はるかに富士山 見える日は
歌もはずむよ 窓あけて
さあ 心 はればれ
たくましい子ども
めぎす いただき あの空に
ぐんと この足 踏みだそう
ああ 僕たちの 私たちの
じんや じんや
じんや じんや
陣屋小学校



新座市立新座小学校



=シンボルの木及び花=

木 さくら
花 こぶし

《プロフィール》-

旧大正小、旧新座小の統廃合により平成16年4月1日開校。今年度は開校21年目を迎えた。

校舎は旧大正小を使用しており、本校の広く豊かな緑に恵まれた校庭には、元気に遊ぶ子どもたちの姿があふれている。

学校教育目標は「よく学び、心ゆたかに、やりぬく子」をかかげ、全教職員が夢と希望のある学校を目指し、一丸となって取り組んでいる。

令和5年度より、新座市教育委員会の研究委嘱を受け、研究テーマを『「もっと」があふれる授業の創造』として、新座小4CH モデル(choice・challenge・chance・check)を軸として、児童が自ら課題をもち、対話を通して考えを深め、学び続けられるよう他教科との関連を見据えた国語科の授業の充実に取り組んでいる。

また、稲作や農園等の教育活動や学校環境の整備のサポート等の学校応援団活動を中心とした開かれた学校づくりを推進し、学校と家庭・地域との相互交流を図り、信頼関係の構築に努めている。

校長 浜田 祐加

教頭 吉澤 めぐみ

創立 平成16年4月1日

児童数 284名

教職員数 28名

学級数 15学級(うち特別支援学級3)

所在地 新座市新座三丁目4番1号

電話 048-478-2760

FAX 048-482-6791

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza/>



校歌

<p>一 光あふれる やなせ川 桜の色も あたたかに 若木は育つ すくすくと ともに励んで 学びあう</p>	<p>二 緑豊かな 学び舎に 集いてひかる 生命の輪 肩を組みあつて 空みれば 心に力 わきあがる</p>	<p>三 瞳かがやけ 生き生きと 希望の未来 あふれでる われら求めて 胸はつて 明日に向かい 進もうよ</p>	<p>校歌選定委員会 佐藤 秀世 萩原 昌好 瀬下 健二 作曲 監修 作詞</p>
--	---	--	---

学校教育目標 ◇よく学び(知育) ◇心ゆたかに(徳育) ◇やりぬく子(体育)

目指す学校像 : 夢と希望のある学校

「人とかがわり合いながら 地域の中で地域とともに育つ」
～学びを深化し「もっと!」を増やす～

目指す教員像 : 「寛厳よろしきを得る」ことができる教師(厳しさと優しさのバランス)

【知】人材育成のプロとして研鑽を積み、チャレンジする教師

【徳】豊かな人間性や社会性等、人格的資質を備えた教師

【体】心身の健康管理に努め、子供と積極的にふれあう教師

目指す児童像 : (1) 自ら考え、判断し、主体的に行動できる子

(2) 温かな気持ちをもち、自他を大切にすることができる子

(3) 生きることへ意欲をもち、健康と体力を高めようとする子

(4) 規律正しく、「あたりまえ」のことを「あたりまえ」にできる子

(5) 礼儀正しく人と接することができる子

(6) 地域を大切に、地域とともに育ち、地域に貢献できる子

特色のある学校づくり

(1) 子どもたちが主人公になる授業を展開する。(主体的・対話的で深い学び)

・児童の「問い」を大切に指導演計画と課題づくりをし、子どもの「知りたい」「やってみたい」「なぜ」を「学びに向かう力」につなげる。

・学級、学年、学校という枠を超え「アウトプット」する機会をつくることで、「もっと!」があふれる学びを展開する。

(2) 児童の自己効力感、自己有用感を高める学級、学年経営をして心の教育の充実をする。

・多様性を認め、いじめ・不登校を生まない支持的風土のある学校づくりをする。

・「小さな成功体験」を積み重ねる場の設定と可視化をして自己効力感、自己有用感を高める。

(3) 学校教育目標達成のため、保護者、地域のアイデアを結集し、自然豊かな地の利を生かした学校教育を推進する。

新座市立新座中学校



校長 金子 文春
 教頭 恩田 信久
 創立 昭和40年4月1日

生徒数 500名
 教職員数 40名
 学級数 16学級(うち特別支援学級2)
 所在地 新座市野火止二丁目4番1号
 電話 048-478-3668
 FAX 048-482-0131
 ホームページ
<http://www.j-niiza-c-niiza.edumap.jp>

=シンボルの木及び花=

木 くぬぎ
 花 サルビア

《プロフィール》

開校60年目を迎えた、市内の学校の中でも緑の多い学校である。「くぬぎのしるしいたいて」と校歌に歌われているように緑に恵まれており、武蔵野を代表するくぬぎ、ならの林に囲まれている。「強く・明るく・考える」生徒の育成、「未来への扉を拓く学校」を目指して教職員の力を結集し、日々の教育活動を充実させている。平成26年には野火止用水の清掃活動等ボランティア活動の実践を推進し、環境大臣賞を受賞した。活発な部活動や感動溢れる学校行事を展開するとともに、コミュニティ・スクールとして地域の力を生かし生徒専門委員会と地域の企業の協働による環境整備活動を推進している。



一 仰ぎみる 武蔵野の空 緑育む 太陽の光 クヌギの徽章 いたゞいて たくましく 真理の道を進むもの 強く 明るく 考える 生徒われら 讃えよう 永遠に 緑に映える 母校 新座中学校	二 みはるかす 野火止の原 緑あふれる 平林寺の杜 希望と夢を 胸にして すこやかに 明日への扉叩くもの 強く 明るく 考える 生徒われら 讃えよう 永遠に 緑に映える 母校 新座中学校	校歌 藤山 一郎 作詞 薩摩 忠 作曲
--	--	---------------------------

教育基本法、
教育関連法、
学習指導要領、
埼玉県・新座市
教育行政施策

令和6年度 新座市立新座中学校 スクールデザイン

夢と希望をもち、未来への扉をひらく学校

令和4・5・6年度
新座市教育委員会委嘱
研究主題
「生徒が考えを言語化し、表現できる
道徳科の授業づくり」

強い新座中生

明るく

考える

強く：責任ある行動をとる生徒(自律)

明るく：対立やジレンマに対処する生徒(尊重)

地域を愛し社会に貢献する生徒 ※小中一貫

考える：新たな価値を創造する生徒(創造)

明るい新座中生

考える新座中生

学校経営方針 ※新座中学校は創立60周年！

教職員の総力を集結し、

生徒・教師・地域の幸せ感を生み出す学校をつくる

～ 生徒がやる気 教師が本気 地域が元気 ～

開かれた新座中学校

授業改善と指導力の向上

誰一人置き去りにしない指導

明るい未来を創造する教職員集団

「指導力を身につけ、よりよい授業を追求」
 ① ICT教育のさらなる推進(効果的な利活用)
 ② 考えを言語化し表現させる道徳科の授業作り
 ③ 学び改革「学び合い、助け合い、共に学ぶ」

「個に応じた丁寧できめ細かな指導の実践」
 ① 不登校生徒への支援体制の確立
 ② 多様性や個性を尊重した教育の推進
 ③ 信頼関係を第一に考えた教師の誠実な行動

「子どもや社会、教育についての希望を共有化」
 ① プロとして指導力を磨き、やりがいを生む習慣
 ② 「何のため」に立ち返る新たな価値の創造
 ③ 保護者や地域、社会から信頼し尊敬される言葉と行動(「私は新座中学校です!」の責任感)

新座市立第二中学校



=シンボルの木及び花=

木 桜

花 パンジー

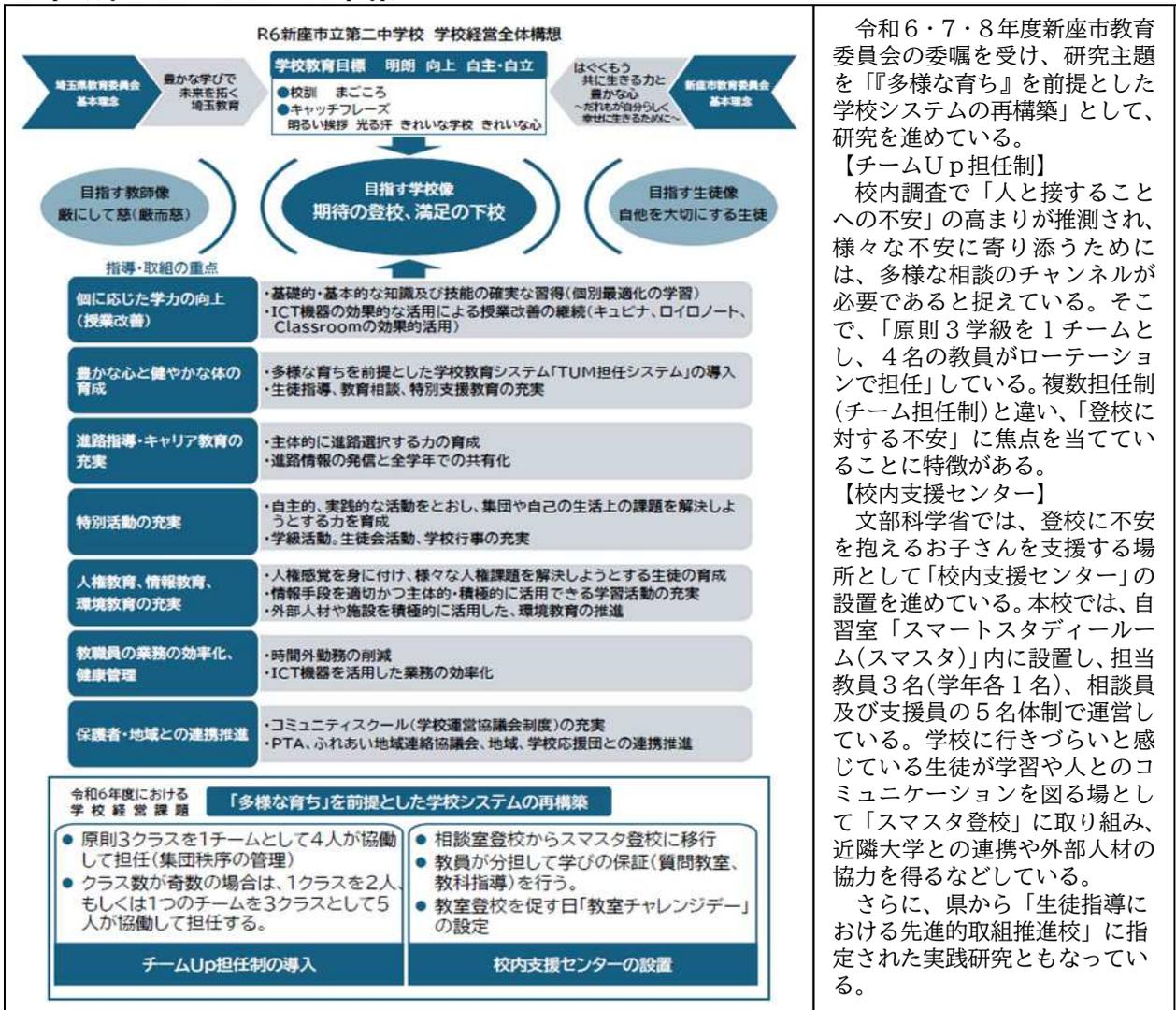
《プロフィール》

本年度、創立54年目を迎えた。学校教育目標、「明朗、向上、自主・自立」、校訓「まごころ」のもと、目指す学校像を「期待の登校、満足の下校」として、一人一人の確かな成長を実現するため、ICT機器を積極的に活用するなど教育活動の効率化、質の向上を目指している。そして、重点目標に①「個に応じた学力の向上」②「ICT機器の積極的な活用」③「豊かな心と健やかな体の育成」④「保護者・地域との連携推進」を掲げ、「明るい挨拶・光る汗・きれいな学校・きれいな心」をキャッチフレーズに、教職員が一丸となって日々の教育活動に取り組んでいる。また、昨年度に行った校内調査、行動観察等を踏まえ、「従来から行われている集団を対象とした一斉指導に適應できない生徒が増えており、様々なひずみが生じている」と捉え、本年度から「多様な育ち」を前提とした学校システムの再構築に取り組んでいる。



校長 小関 直
 教頭 山中 あずさ
 教頭 児玉 壮史
 創立 昭和46年4月1日
 生徒数 980名
 教職員数 75名
 学級数 30学級（うち特別支援学級4）
 所在地 新座市野火止七丁目17番10号
 電話 048-477-1212
 FAX 048-482-0132
 ホームページ
<https://j-daini-c-niiza.edumap.jp/>

校歌
 萩原清義 作曲
 土肥泰家 作詞
 一
 はるかなる歴史の故郷
 野火止の 緑に映えて ゆるぎなく
 そびえ輝く学舎は
 希望はぐくみいや高き
 理想を胸に ああわれら
 明るく集う
 新座第二中学校
 開けゆくめぐみぞ深き
 野火止の
 母なる大地踏みしめて
 あおぐ白亜の姿こそ
 力を伸ばし身を鍛え
 誓いあらたに ああわれら
 親しくはげむ
 新座第二中学校
 限りなき文化の泉
 野火止の
 夜明けさやかに眉をあげ
 進む教えの庭の窓
 英知の光創りつつ
 平和願いて ああわれら
 愉しく学ぶ
 新座第二中学校



令和6・7・8年度新座市教育委員会の委嘱を受け、研究主題を『多様な育ち』を前提とした学校システムの再構築』として、研究を進めている。

【チームUp担任制】

校内調査で「人と接することへの不安」の高まりが推測され、様々な不安に寄り添うためには、多様な相談のチャンネルが必要であると捉えている。そこで、「原則3学級を1チームとし、4名の教員がローテーションで担任」している。複数担任制(チーム担任制)と違い、「登校に対する不安」に焦点を当てていることに特徴がある。

【校内支援センター】

文部科学省では、登校に不安を抱えるお子さんを支援する場所として「校内支援センター」の設置を進めている。本校では、自習室「スマートスタディールーム(スマスタ)」内に設置し、担当教員3名(学年各1名)、相談員及び支援員の5名体制で運営している。学校に行きづらいと感じている生徒が学習や人とのコミュニケーションを図る場として「スマスタ登校」に取り組み、近隣大学との連携や外部人材の協力を得るなどしている。

さらに、県から「生徒指導における先進的取組推進校」に指定された実践研究ともなっている。

新座市立第三中学校



=シンボルの木及び花=

木 イチョウ

花 スズラン

《プロフィール》

学校教育目標： 自ら学ぶ 心豊かに たくましく

本年度、創立52年目を迎え、これまでの伝統を尊重しつつ変化を続けていく。①生徒一人一人を大切に、生徒の持つ力を伸ばす教育を充実させる<認める・ほめる・励ます>②地域を大切に、地域と連携した教育活動を展開する<コミュニティ>③同僚性（チーム新座三中）を高め、学校の教育力を高める<リスペクト>の3点を柱とした学校経営方針のもと、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいます。

マリーゴールドのオレンジ色は明るく前向きな三中生にぴったりのスクールカラーです。



校長 石田 和男

教頭 大内 敦史・田中 仁美

創立 昭和48年4月1日

生徒数 765名

教職員数 55名

学級数 24学級（うち特別支援学級3）

所在地 新座市池田一丁目1番1号

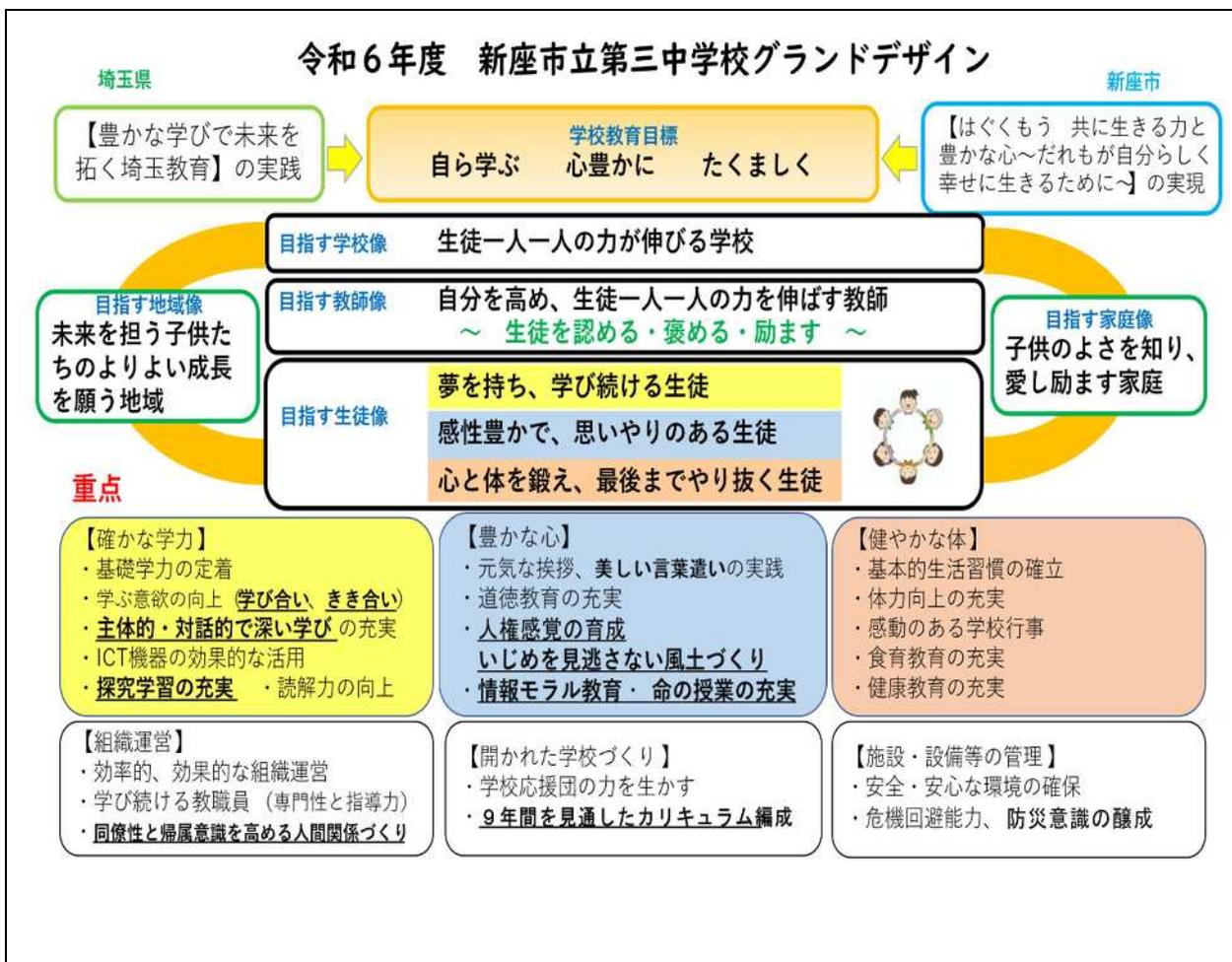
電話 048-479-4052

FAX 048-482-0133

ホームページ

<https://j-daisan-c-niiza.edumap.jp/>

	一	校
	緑織りなす 武蔵野の	歌
	文化のいぶき 日に新た	今村 深尾
	希望に燃えて 意気高く	まさる 寿子
	伸び行く 若き この力	作曲 作詞
	いざはばたけよ	
	ああ わが 新座三中	
	二	
	遙か山脈 雲白く	
	新座の森の 風さやか	
	光りと愛に 育まれ	
	鍛えし 体 この力	
	いざはばたけよ	
	ああ わが 新座三中	



新座市立第四中学校

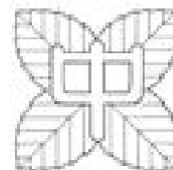


=シンボルの木及び花=

木 けやき

花 こぶし

《プロフィール》



第四中学校の一日は、笑顔と元気な挨拶からはじまる。学校教育目標を「夢に向かって人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」とし、大人になるために必要な知・徳・体の基礎基本や自治的な力を育成することで「社会で通用する人間の育成」を目指す。生徒は、生徒会スローガン「百花繚乱～咲きほこれ 我らが四中生～」のもと、保護者・地域の温かい笑顔に支えられ、充実した学校生活を送っている。

校長 鮫島 弘樹

教頭 長谷川 久和

創立 昭和51年7月1日

生徒数 477名

教職員数 35名

学級数 16学級（うち特別支援学級3）

所在地 新座市大和田四丁目17番1号

電話 048-477-6053

FAX 048-482-0134

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon/>

校

歌

一 果てなき空の 武蔵野に
 樺の若樹 たくましく
 英知を求め いまここに
 理想のともしび かかげつつ
 われら若人 集いて学ぶ
 新座第四中学校

二 柳瀬の川辺 学び舎に
 こぶしの花の 清らなる
 友情のきずな とこしえに
 自律の意志を きたえつつ
 われら若人 ともに伸びゆく
 新座第四中学校

三 はるかみる富士 麗しく
 彩り深き もみじ葉の
 ゆたかな心 友垣と
 明日の文化を になうため
 われら若人 未来を望む
 新座第四中学校

池田 文三 作詞
 藤島 建夫 作曲
 栗山 伊佐雄 編曲

令和6年度 新座市立第四中学校グランドデザイン

学校教育目標

「夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」
 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○たくましい生徒

目指す学校像

○必要な資質や能力を、確実に身に付けられる学校
 ○保護者や地域の期待に応え、信頼される学校
 ○教職員が誇りと働き甲斐を持って勤められる学校



新座市立第五中学校



=シンボルの木及び花=

木 えんじゅ
花 ばら

《プロフィール》

校訓「感謝と挑戦」

学校教育目標「友愛・向上・自主自律」

目指す生徒像「自ら考え判断し、行動できる生徒」

キャッチフレーズ「夢と感動、誇りを育て、地域に信頼される学校」



本校は、新座市の南西部に位置し、西東京市・練馬区などの東京都に隣接する住宅地にある学校である。近くを流れる黒目川や自然林など自然環境も残っている。学校の教育目標を「友愛・向上・自主自律」とし、地域に信頼される学校づくりを目指している。今年度の指導の重点を「教育活動の効率化・質の向上」として、①令和の日本型学校教育を実現②ICT機器の積極的な活用（情報活用能力の育成）③豊かな心と健やかな体の育成④保護者・地域との連携推進の4つの柱を定め全教職員が一丸となって取り組んでいる。また、地域、後援会、PTA、学校応援団など多くの方に学校の教育活動のご支援をいただいている。

授業では、昨年度より研究主題を【「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現～ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して～】として、学習指導要領を踏まえ、ICTを積極的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化し充実させることで、主体的・対話的で深い学びの授業の実現を目指した研究を推進している。今年度は、情報モラル教育の充実、情報活用能力（ネットリテラシー）の育成、文章入力スピード検定の実施など、ICTを活用させた個別最適な学びを充実させ学力向上に向けての取組を加速させる。

校長 伊藤 進

教頭 須藤 恵介

創立 昭和52年4月1日

生徒数 771名

教職員数 48名

学級数 24学級（うち特別支援学級4）

所在地 新座市野寺四丁目8番1号

電話 048-478-2010

FAX 048-482-0135

ホームページ

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daigo/>

校

歌

光が あります ゆたかです
緑が あります 静かです
流れが あります きれいです

ここは 武蔵野 のどかな台地
新座 新座

明日へ 伸び行く わが町だ

学校に 集まる生徒は みんな
たくましく 健やかな

希望 あふれる 精神と身体

新座五中 新座五中
わたらしの 新座五中の わたらし

風早 美樹 作詞
藤山 一郎 作曲

令和6年度グランドデザイン 新座市立第五中学校

埼玉県教育委員会
基本理念
豊かな学びで
未来を拓く
埼玉教育

校訓
「感謝と挑戦」
学校教育目標
「友愛 向上 自主自律」

新座市教育委員会
基本理念
はぐくもう
豊かな心
～だれもが自分らしく
幸せに生きるために～



目指す生徒像
「自ら考え、判断し、行動できる生徒」

- 豊かな心をもち、生命や人権を尊重する生徒（友愛）
- より良い学校生活を目指す生徒（向上）
- 自発的に正しく考え、行動を律する生徒（自主自律）

目指す学校像
「自信と誇りにあふれる学校」
○心のこもったあいさつを大切にする生徒を育てる学校
○安全で、清掃が行き届いたきれいな学校
○地域、保護者に信頼される学校



目指す教師像
「教育は人なり」
○明るく、人間性豊かな教師
○情熱と使命感をもつ教師
○幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた教師
「誠実・的確・迅速」

今年度の重点
「教育活動の効率化・質の向上」
1 令和の日本型学校教育の実現
2 ICTの積極的な活用（情報活用能力の育成）
3 豊かな心と健やかな体の育成
4 保護者・地域との連携推進
「夢と感動、誇りを育て、地域に信頼される学校」



【目標達成のための方策】

- 一人一人の確かな成長を実現するため、ICT機器を積極的に活用するなど教育活動の効率化・質の向上を目指す。
- 令和の日本型学校教育を実現
 - 授業改善（子供の学び方改革）「誰一人取り残すことのない授業」
「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。
 - 自律的に学ぶことのできる生徒の育成
自ら設定した目標に向け必要な学習内容や方法を決定し、学び続けていく学習者を育てる。
 - 適切な学習評価（指導と評価の一体化）
 - ICT機器の積極的な活用（情報活用能力の育成）
 - 世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力を育成する。情報活用能力を全教育活動にて系統的に育成する。（別紙）
 - グローバル力、プレゼンテーション能力等の育成
子供たちが学校で学ぶことは、社会と切り離されたものではなく、変化を見据えて、生きていくために必要な資質・能力を育てる。
①効果的な資料、プレゼンテーション能力の育成。②論理的思考能力の育成。③コミュニケーション能力とグローバル力の育成。
 - 豊かな心と健やかな体の育成
 - 豊かな心の育成
①道徳教育の推進、充実 ②生徒指導の充実 ③情報モラル教育の推進 ④心のこもったあいさつの推進
 - 教育相談の充実、いじめ防止、不登校生徒を削減
①教育相談室（学習支援室）での授業。②いじめの早期発見・対応。③オンライン授業による学びの確保。④中一ギャップ防止。
⑤不登校生徒等の情報共有と改善に向けての具体策の検討、実施。⑥他の関係機関との連携推進。⑦ICTによる学習支援の推進。
 - 体力の課題解決と健康教育の推進
 - 地域・家庭（PTA）・学校が一体となった教育の推進
 - 学校運営協議会制度の充実。(2) 学校情報の積極的な発信（ホームページに生徒作成の動画のアップ）。(3) 地域の教育資源を有効活用した教育活動の推進。(4) 校区内幼稚園と保育交流（片山幼稚園と美鈴幼稚園）

新座市立第六中学校



=シンボルの木及び花=
 木 けやき
 花 マリーゴールド
 《プロフィール》



「自主」「責任」「明朗」の学校教育目標を掲げ、新座市立第六中学校は、武蔵野の面影が残る雑木林に囲まれる豊かな環境の中、昭和55年(1980年)に開校し、令和6年で44周年を迎えました。

校歌にある「やさしい瞳に守られて」の通り、生徒たちは保護者や地域の方々に見守られながら、日々、キャッチフレーズ「夢・自信・誇り」を胸に、学習や行事、部活動に励んでいます。

教職員は生徒に「夢・自信・誇り」をもたせ、「上級生を見習おう」と言える学校づくりを推進するために、一丸となって毎日の教育活動に取り組んでいます。

校長 影山 葉子
 教頭 中島 豊
 創立 昭和55年4月1日
 生徒数 698名
 教職員数 39名
 学級数 21学級(うち特別支援学級3)
 所在地 新座市堀ノ内三丁目11番1号
 電話 048-478-2764
 FAX 048-482-0136
 ホームページ
<http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku/>

校歌
 中村 千栄子 作詞
 岩河 三郎 作曲

輝く若葉の青春よ
 いま 燃えあがれ 武蔵野に
 ああ われら 新座の仲間
 ああ 雲の湧く かなたまで
 伸ばそうよ 両手を
 広げよう 希望を
 大きな樗を越えて なお
 心に溢れる若い夢
 いま ほとばしれ 野火止に
 ああ われら 新座の仲間
 豊かな大地 踏みしめて
 歩こうよ みんなで
 究めよう 道を
 明るい未来へ 今日も また
 やさしい瞳に守られて
 山桜立つ この校庭は
 いつの日も ふるさと
 われらの第六中学校

六中生 誰もがみんな 一分の一

令和6年度グランドデザイン
新座市立第六中学校

国・県の施策と法令の遵守
日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
第4期改訂版
教育振興基本計画
「豊かな学びで未来を拓く」
埼玉教育
埼玉県教育行政重点施策

学校教育目標 **自主 責任 明朗**

キャッチフレーズ **夢・自信・誇り**

教職員スローガン **「六中生 誰もがみんな 一分の一」**

目指す学校像 **「夢・自信・誇り」をもたせ、「上級生を見習おう」と言える学校**

目指す生徒像 **よく考え、進んで学習する生徒 責任を重んじ、規程正しい生徒 明るくたくましく、心豊かな生徒**

目指す教師像 **生徒と共に歩む教師 生徒に確かな学力を身に付けさせる教師 信頼される教師**

コミュニティ・スクールとしての活動
 ○学校運営協議会の定期的な開催
 ・学校行事や授業の公開
 ・地域の人材による支援
 ○学校応援団の取組
 ・花壇や池等の緑化に係る環境整備活動
 ・地域の防犯や交通安全の見守り活動

特色ある第六中の教育活動の展開

自分から挨拶

- 生徒自ら発信する主体的な取組
- ・生徒会実行委員会による朝の挨拶運動
- ・生徒も教員も「さきに」挨拶する取組
- 定期的な講話
- ・学校朝会や学級活動、道徳の授業等での啓蒙

「六中授業ベーシック」の推進と授業改善による学力向上

- 「教師は授業で勝負する」
- ・「分かる授業、楽しい授業、出番のある授業」の実践
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- ・指導と評価の一体化の推進

積極的な生徒指導による安定した学級づくり

- 生徒理解に努める基本的姿勢
- ・一人一人の生徒を大切に考えた支援の展開
- ・子供との対話の重視
- ・保護者の話をよく聞く
- 生徒指導部会での共有
- ・担任だけでなく抱えない
- ・他クラス、他学年の生徒に関心をもつ

体力の向上と食育の充実

- 基礎体力の維持、向上
- ・新体力テストを踏まえた体力づくり
- ・昼休み等の運動の奨励
- 給食を柱とした食育活動
- ・「困ら残食なし」の維持
- ・携わる人々や環境との関わりについて興味・関心をもたせる
- ・栄養的価値等の学びの実践

家庭・地域との信頼関係の構築

- 家庭の状況を尊重した個別対応
- ・保護者に寄り添う姿勢
- 学校運営協議会との連携
- ・授業参観等による教育活動の公開
- ・学校における地域の人材による支援
- 学校HPによる広報
- ・「六中アルバム」コーナーでの学校の様子の周知

4 学校保健

学校は教育の場として、また児童生徒等が集団生活するところとして、人的、物的にも最も健康に適した環境であることが必要である。また児童生徒等の健康は、学校教育における学習能力向上の基礎でもあり、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する基本的要件の一つといえる。このように学校保健の役割はきわめて重要であり、心身共に健康な児童・生徒の育成に努めるため、本市では児童生徒に対し、身長、体重の測定、四肢の状態、内科、歯科、耳鼻科、眼科の定期健康診断及び細菌検査、心臓検診、脊柱側弯症検診、尿検査等を実施し、結核健康診断については、平成15年度から結核予防法が改正されたことにより、問診と定期健康診断の結果を基に結核対策委員会で検討し、精密検査が必要と思われる児童・生徒に対してエックス線直接撮影を実施している。

また、教職員に対しては、結核健康診断及び教職員健康診断等を実施し、学校保健の指導的立場にある教職員の健康管理を推進している。

各種検査結果一覧（令和5年度 定期健康診断）

○ 結核検診

区 分	対象人数	検討者（人）	精密検査 実施者（人）	異常なし（人）
小 学 校	8,654	20	17	17
中 学 校	4,176	2	2	2
合 計	12,830	22	19	19

○ 心臓検診（小学校1年生、中学校1年生及び経過観察者）

区 分	実施者（人）	異常なし（人）
小 学 校	1,396	1,331
中 学 校	1,396	1,317
合 計	2,792	2,648



○ 脊柱側弯症検診（小学校5年生、中学校2年生及び前年度未受診者）

区 分	実施者（人）	異常なし（人）
小 学 校	1,470	1,390
中 学 校	1,365	1,268
合 計	2,835	2,658

○ 尿検査（全校児童・生徒）

区 分	実施者（人）	一次陽性者（人）
小 学 校	8,607	34
中 学 校	4,038	27
合 計	12,645	61

